

**袖ヶ浦市庁舎整備に関する
市民アンケート調査結果報告書**

**平成28年9月
袖ヶ浦市**

目 次

I	調査の概要	1
1.	調査目的	1
2.	調査対象及び調査方法	1
3.	回収結果	1
4.	本調査結果報告書の留意点	1
II	集計結果	2
1.	基礎情報について（あなたご自身のことについて）	2
（1）	性別（問1）	2
（2）	年齢（問2）	2
（3）	職業（問3）	2
（4）	居住地区（問4）	3
（5）	家族人数（問5）	3
（6）	居住年数（問6）	3
2.	市役所本庁舎の利用について	4
（1）	年間に来庁する回数（問7）	4
（2）	交通手段（問8）	5
（3）	来庁する用件（問9）	6
（4）	滞在時間（問10）	8
（5）	来庁時に困ったこと（問11）	10
3.	庁舎の再整備について	14
（1）	再整備で必要だと思うもの（問12）	14
（2）	問12の項目のうち、最も重要だと思うもの（問13）	27
4.	市民活動・協働について	30
（1）	日ごろ行っている市民活動や協働に関する活動について（問14）	30
（2）	まちづくりのあり方について（問15）	31
（3）	興味・関心のある市民活動や協働に関する活動について（問16）	32
5.	「市や各種（市民）団体の情報発信、交流の場として市民に開放できるスペース」について	35
（1）	「市民に開放できるスペース」を活用した交流について（問17）	35
（2）	市民活動・協働の促進のために必要な情報について（問18）	36
（3）	公民館との役割分担について（問19）	38
（4）	公民館との連携について（問20）	39
（5）	「市民に開放できるスペース」のデザインについて（問21）	40
6.	自由意見（問22）	46
III	資料	53
	袖ヶ浦市庁舎整備に関する市民アンケート	53

I 調査の概要

1. 調査目的

本調査は、袖ヶ浦市庁舎整備の基本設計にあたり、庁舎に求める機能、サービス内容、市民活動の場として利用できるスペースに関する資料を得ることを目的として実施しました。

2. 調査対象及び調査方法

本調査は、次の対象及び方法により実施しました。

調査対象	市内に住所を有する満 18 歳以上の男女
配布数	1,000 人
調査方法	郵送法（郵送による配布と回収）
調査時期	平成 28 年 7 月
調査地域	市内全域

3. 回収結果

回収結果は、次のとおりです。

配布数	1,000 票
回収数	514 票
回収率	51.4%

4. 本調査結果報告書の留意点

本報告書では、次の点に留意する必要があります。

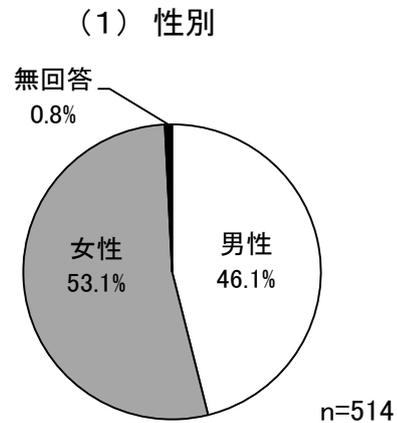
- ・比率は百分率（%）で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しているため、合計が 100%を上下する場合があります。
- ・基数となるべき回答者数は、“n=〇〇”として掲載し、各比率は回答者数を 100%として算出しました。
- ・複数回答の設問に関しては、各回答の比率の合計は 100%を超える場合があります。

Ⅱ 集計結果

1. 基礎情報について（あなたご自身のことについて）

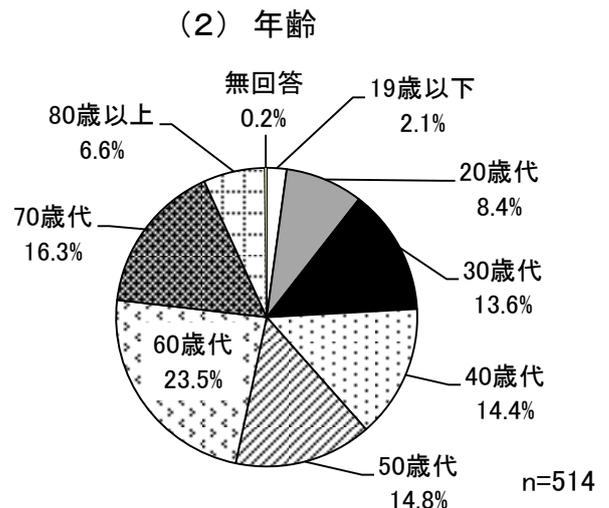
（1）性別（問1）

性別については、「男性」が46.1%、「女性」が53.1%と、「女性」の割合が高くなっています。



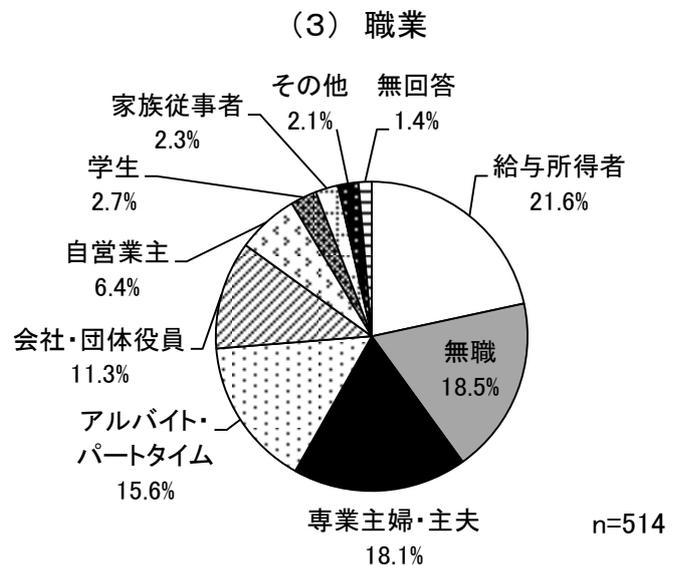
（2）年齢（問2）

年齢については、「60歳代」が23.5%、「70歳代」が16.3%、「50歳代」が14.8%などとなっています。



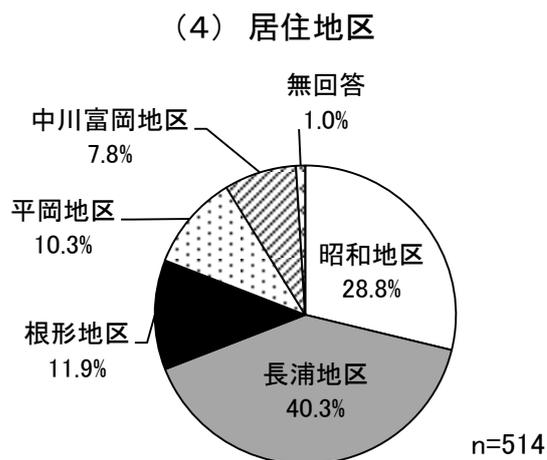
（3）職業（問3）

職業については、「給与所得者」が21.6%、「専業主婦・主夫」が18.1%、「アルバイト・パートタイム」が15.6%などとなっています。



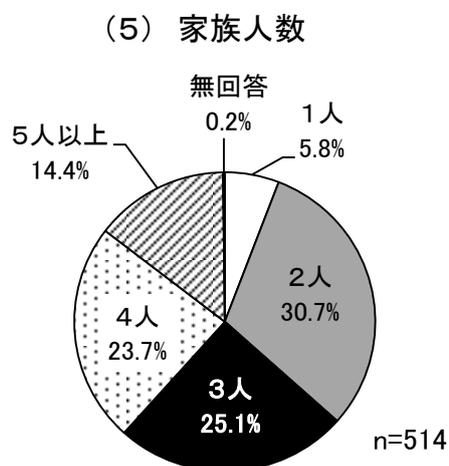
(4) 居住地区 (問4)

居住地区については、「長浦地区」が40.3%、「昭和地区」が28.8%、「根形地区」が11.9%などとなっています。



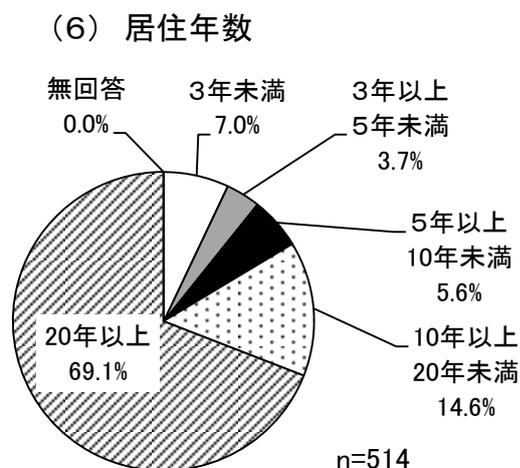
(5) 家族人数 (問5)

家族人数については、「2人」が30.7%、「3人」が25.1%、「4人」が23.7%などとなっています。



(6) 居住年数 (問6)

居住年数については、「20年以上」が69.1%、「10年以上20年未満」が14.6%、「3年未満」が7.0%などとなっています。



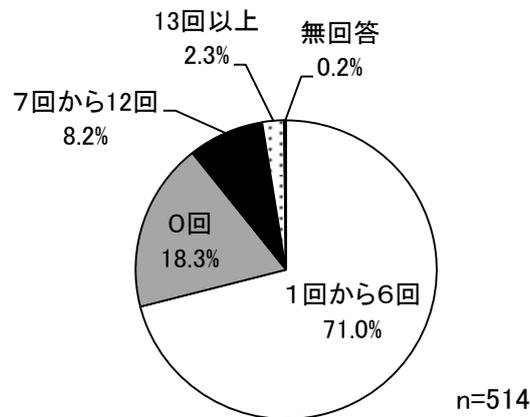
2. 市役所本庁舎の利用について

(1) 年間に来庁する回数

問7 1年間に何回、本庁舎へお越しになりますか。(単一回答)

年間に来庁する回数については、「1回から6回」が71.0%と、7割を超えています。また、0回が18.3%となっています。

問7 年間に来庁する回数



年代別にみると、19歳以下を除いたすべての年代で「1回から6回」が最も高くなっており、特に40歳代では8割以上となっています。

性別、地区別にみても、すべてで「1回から6回」が最も高く、7割前後を占めています。

単位 (%)

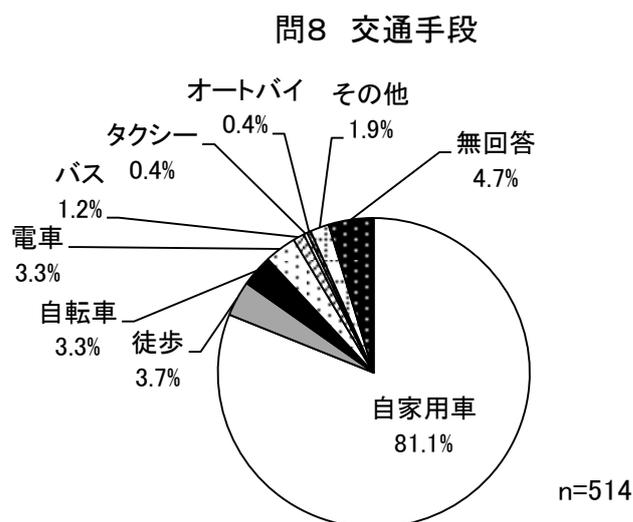
	0回	1回から6回	7回から12回	13回以上	無回答
全体(n=514)	18.3	71.0	8.2	2.3	0.2
男性(n=237)	15.2	73.4	8.0	3.4	0.0
女性(n=273)	21.2	68.9	8.4	1.5	0.0
19歳以下(n=11)	63.6	36.4	0.0	0.0	0.0
20歳代(n=43)	27.9	69.8	2.3	0.0	0.0
30歳代(n=70)	15.7	68.6	11.4	4.3	0.0
40歳代(n=74)	10.8	81.1	8.1	0.0	0.0
50歳代(n=76)	15.8	76.3	3.9	3.9	0.0
60歳代(n=121)	16.5	69.4	11.6	2.5	0.0
70歳代(n=84)	19.0	70.2	7.1	3.6	0.0
80歳以上(n=34)	23.5	61.8	11.8	0.0	2.9
昭和地区(n=148)	10.8	71.6	12.8	4.7	0.0
長浦地区(n=207)	23.2	69.1	5.8	1.9	0.0
根形地区(n=61)	11.5	75.4	11.5	1.6	0.0
平岡地区(n=53)	26.4	66.0	5.7	0.0	1.9
中川富岡地区(n=40)	22.5	75.0	2.5	0.0	0.0

※網掛けは最も高い項目です。

(2) 交通手段

問8 本庁舎へは、主にどのような手段でお越しになりますか。(単一回答)

交通手段については、「自家用車」が81.1%で最も高く、次いで「徒歩」が3.7%となっており、8割以上の方が自家用車を利用しています。一方、公共交通機関である「電車」は3.3%、「バス」は1.2%となっています。



性別、年代別、地区別のすべてで、「自家用車」が最も高くなっています。

単位 (%)

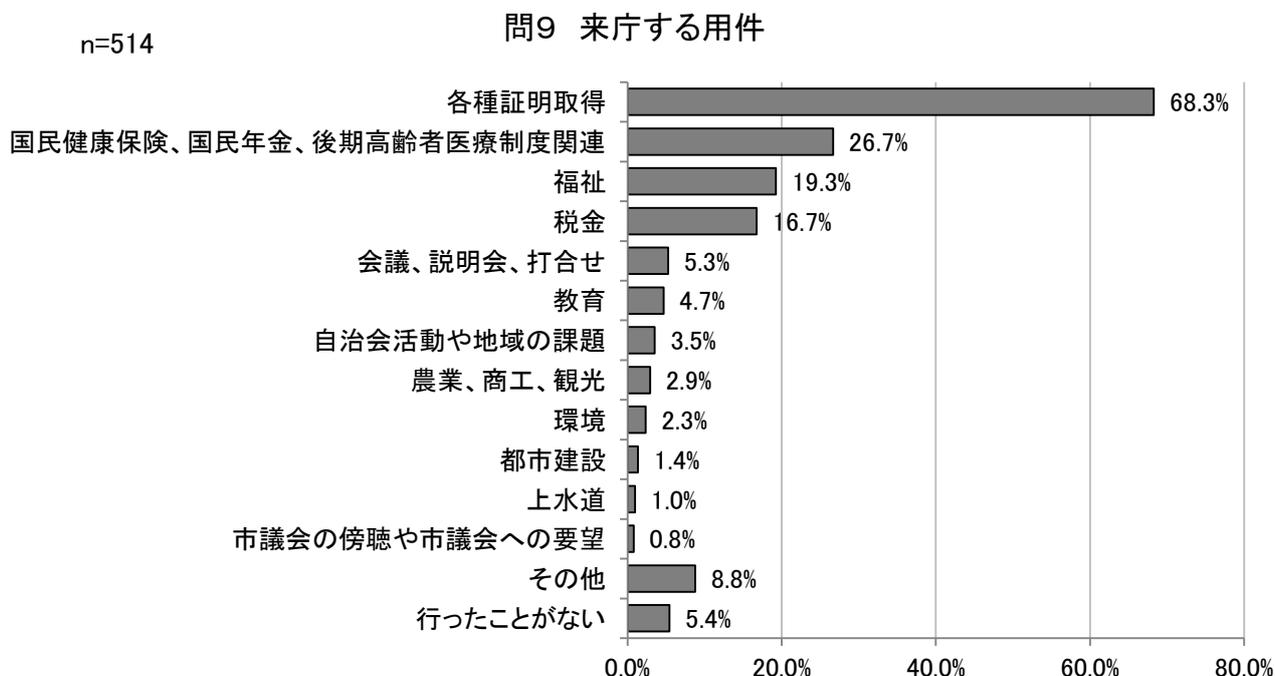
	自家用車	タクシー	オートバイ	自転車	バス	電車	徒歩	その他	無回答
全体(n=514)	81.1	0.4	0.4	3.3	1.2	3.3	3.7	1.9	4.7
男性(n=237)	89.0	0.0	0.4	1.7	1.3	1.7	3.0	1.3	1.7
女性(n=273)	74.7	0.7	0.4	4.4	1.1	4.8	4.4	2.6	7.0
19歳以下(n=11)	54.5	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0	27.3	0.0
20歳代(n=43)	76.7	0.0	0.0	2.3	0.0	7.0	7.0	0.0	7.0
30歳代(n=70)	91.4	0.0	1.4	0.0	0.0	2.9	2.9	0.0	1.4
40歳代(n=74)	86.5	0.0	0.0	4.1	0.0	0.0	6.8	1.4	1.4
50歳代(n=76)	90.8	0.0	0.0	1.3	0.0	1.3	2.6	0.0	3.9
60歳代(n=121)	86.8	0.0	0.0	2.5	0.8	4.1	2.5	0.8	2.5
70歳代(n=84)	67.9	2.4	0.0	4.8	3.6	3.6	4.8	4.8	8.3
80歳以上(n=34)	52.9	0.0	2.9	11.8	5.9	5.9	0.0	2.9	17.6
昭和地区(n=148)	74.3	0.0	0.0	7.4	0.0	0.0	12.2	0.7	5.4
長浦地区(n=207)	84.1	0.5	0.5	2.4	1.4	6.8	0.5	1.0	2.9
根形地区(n=61)	91.8	0.0	1.6	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	4.9
平岡地区(n=53)	73.6	0.0	0.0	1.9	3.8	1.9	0.0	9.4	9.4
中川富岡地区(n=40)	82.5	2.5	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	5.0	5.0

※網掛けは最も高い項目です。

(3) 来庁する用件

問9 本庁舎へは、主にどのような用件でお越しになりますか。(複数回答)

来庁する用件については、「各種証明取得」が68.3%で最も高く、次いで「国民健康保険、国民年金、後期高齢者医療制度関連」が26.7%、「福祉」が19.3%などとなっています。



年代別にみると、おおむねすべての年代で「各種証明取得」が最も高くなっていますが、19歳以下では「行ったことがない」が45.5%で最も高くなっています。また、年代が上がるにつれて「国民健康保険、国民年金、後期高齢者医療制度関連」の割合が高くなり、80歳以上では44.1%と、「各種証明取得」よりも高くなっています。

「福祉」の割合は30歳代で40.0%、40歳代で32.4%となっており、介護や子育て関係の用件で庁舎を訪れている傾向にあります。

単位 (%)

	各種証明取得	国民健康保険、国民年金、後期高齢者医療制度関連	税金	福祉	教育	上水道	環境	農業、商工、観光
全体(n=514)	68.3	26.7	16.7	19.3	4.7	1.0	2.3	2.9
男性(n=237)	70.5	26.6	16.0	20.3	4.2	0.8	3.8	5.1
女性(n=273)	67.0	26.7	17.2	18.3	5.1	1.1	1.1	1.1
19歳以下(n=11)	36.4	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0
20歳代(n=43)	74.4	11.6	2.3	14.0	0.0	0.0	4.7	0.0
30歳代(n=70)	80.0	10.0	12.9	40.0	20.0	1.4	0.0	0.0
40歳代(n=74)	82.4	16.2	14.9	32.4	5.4	0.0	0.0	0.0
50歳代(n=76)	77.6	23.7	19.7	7.9	2.6	3.9	0.0	1.3
60歳代(n=121)	66.9	36.4	21.5	15.7	0.8	0.8	5.0	4.1
70歳代(n=84)	52.4	42.9	19.0	15.5	1.2	0.0	4.8	6.0
80歳以上(n=34)	38.2	44.1	23.5	5.9	2.9	0.0	0.0	11.8

	都市建設	自治会活動や地域の課題	会議、説明会、打合せ	市議会の傍聴や市議会への要望	行ったことがない	その他	無回答
全体(n=514)	1.4	3.5	5.3	0.8	5.4	8.8	3.9
男性(n=237)	2.5	5.9	5.9	0.8	7.2	8.9	0.8
女性(n=273)	0.4	1.5	4.8	0.7	4.0	8.8	6.2
19歳以下(n=11)	0.0	0.0	0.0	0.0	45.5	0.0	0.0
20歳代(n=43)	0.0	0.0	0.0	0.0	9.3	4.7	4.7
30歳代(n=70)	1.4	1.4	0.0	0.0	4.3	7.1	1.4
40歳代(n=74)	1.4	2.7	2.7	0.0	6.8	9.5	0.0
50歳代(n=76)	1.3	2.6	6.6	2.6	1.3	10.5	1.3
60歳代(n=121)	1.7	5.8	9.1	0.0	5.0	7.4	3.3
70歳代(n=84)	2.4	3.6	8.3	1.2	4.8	14.3	4.8
80歳以上(n=34)	0.0	8.8	5.9	2.9	0.0	5.9	23.5

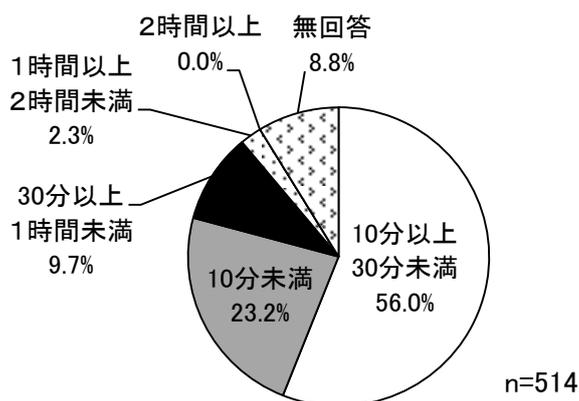
※網掛けは最も高い項目です。

(4) 滞在時間

問10 本庁舎を訪れたとき、用件を済ませるために、どれくらいの時間がかかりましたか。平均的な滞在時間をお答えください。(単一回答)

滞在時間については、「10分以上30分未満」が56.0%で最も高く、次いで「10分未満」が23.2%となっており、8割弱の人が30分未満で用件を済ませています。

問10 滞在時間



性別、年代別にみると、性別、年代別のすべてで「10分以上30分未満」が最も高くなっています。次いで「10分未満」がおおむね高い割合を占めています。

単位 (%)

	10分未満	10分以上30分未満	30分以上1時間未満	1時間以上2時間未満	2時間以上	無回答
全体(n=514)	23.2	56.0	9.7	2.3	0.0	8.8
男性(n=237)	24.9	57.8	8.9	3.4	0.0	5.1
女性(n=273)	21.6	54.9	10.6	1.5	0.0	11.4
19歳以下(n=11)	0.0	36.4	18.2	9.1	0.0	36.4
20歳代(n=43)	20.9	60.5	7.0	2.3	0.0	9.3
30歳代(n=70)	21.4	60.0	11.4	0.0	0.0	7.1
40歳代(n=74)	23.0	67.6	4.1	0.0	0.0	5.4
50歳代(n=76)	27.6	53.9	11.8	1.3	0.0	5.3
60歳代(n=121)	22.3	59.5	8.3	3.3	0.0	6.6
70歳代(n=84)	27.4	46.4	10.7	6.0	0.0	9.5
80歳以上(n=34)	20.6	38.2	17.6	0.0	0.0	23.5

※網掛けは最も高い項目です。

本庁舎へ来庁する用件別にみると、市議会の傍聴や市議会への要望では「30分以上1時間未満」が最も高く、その他の用件では「10分以上30分未満」が最も高くなっています。また、上水道では「10分未満」及び「10分以上30分未満」が同率で最も高くなっています。

単位 (%)

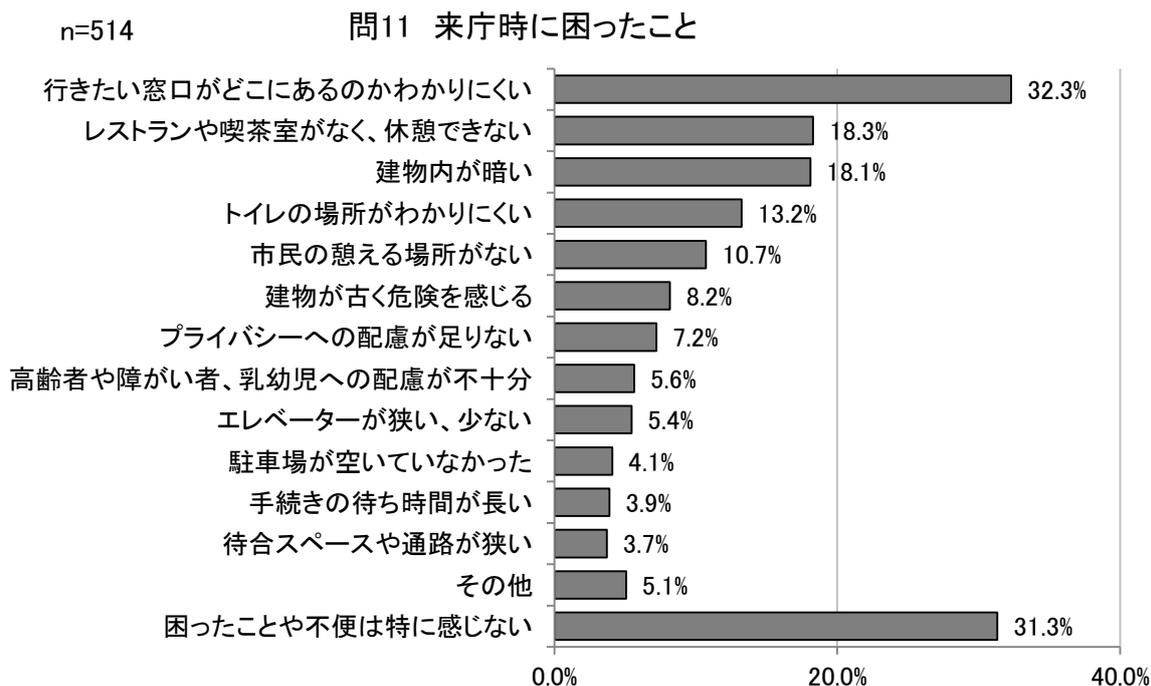
	10分未満	10分以上 30分未満	30分以上 1時間未満	1時間以上 2時間未満	2時間以上	無回答
各種証明取得 (n=351)	24.2	63.0	10.5	1.7	0.0	0.6
国民健康保険、国民年金、後期高齢者医療制度 (n=137)	19.0	65.0	13.9	1.5	0.0	0.7
税金 (n=86)	18.6	65.1	14.0	1.2	0.0	1.2
福祉 (n=99)	14.1	69.7	13.1	2.0	0.0	1.0
教育 (n=24)	12.5	62.5	16.7	8.3	0.0	0.0
上水道 (n=5)	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0
環境 (n=12)	16.7	58.3	8.3	16.7	0.0	0.0
農業、商工、観光 (n=15)	6.7	53.3	26.7	13.3	0.0	0.0
都市建設 (n=7)	28.6	42.9	0.0	28.6	0.0	0.0
自治会活動や地域の課題 (n=18)	16.7	66.7	5.6	11.1	0.0	0.0
会議、説明会、打合せ (n=27)	14.8	40.7	25.9	18.5	0.0	0.0
市議会の傍聴や市議会への要望 (n=4)	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0
その他 (n=45)	24.4	53.3	6.7	2.2	0.0	13.3

※網掛けは最も高い項目です。

(5) 来庁時に困ったこと

問11 本庁舎にお越しいただいたときに困ったことはなんですか。(複数回答)

来庁時に困ったことについては、「行きたい窓口がどこにあるのかわかりにくい」が32.3%で最も高く、次いで「レストランや喫茶室がなく、休憩できない」が18.3%、「建物内が暗い」が18.1%などとなっています。一方、「困ったことや不便は特に感じない」は31.3%となっています。



年代別にみても、「行きたい窓口がどこにあるのかわかりにくい」の割合が高くなっています。「高齢者や障がい者、乳幼児への配慮が不十分」では、30歳代が18.6%で最も高く、50歳代以上では4%に満たない割合となっていることから、乳幼児など子どもに関する配慮に課題が残っていることがうかがえます。また、30歳代から50歳代までは「建物内が暗い」の割合も比較的高くなっています。

単位 (%)

	高齢者や障がい者、乳幼児への配慮が不十分	行きたい窓口がどこにあるのかわかりにくい	プライバシーへの配慮が足りない	待合スペースや通路が狭い	市民の憩える場所がない
全体(n=514)	5.6	32.3	7.2	3.7	10.7
男性(n=237)	6.3	29.1	5.1	4.6	13.9
女性(n=273)	4.8	35.5	9.2	2.9	8.1
19歳以下(n=11)	9.1	18.2	0.0	9.1	18.2
20歳代(n=43)	4.7	37.2	4.7	2.3	9.3
30歳代(n=70)	18.6	47.1	10.0	7.1	10.0
40歳代(n=74)	5.4	35.1	6.8	1.4	12.2
50歳代(n=76)	3.9	34.2	6.6	3.9	9.2
60歳代(n=121)	2.5	32.2	13.2	2.5	14.0
70歳代(n=84)	3.6	22.6	2.4	3.6	9.5
80歳以上(n=34)	0.0	14.7	0.0	5.9	2.9

	レストランや喫茶室がなく、休憩できない	トイレの場所がわかりにくい	手続きの待ち時間が長い	エレベーターが狭い、少ない	建物が古く危険を感じる
全体(n=514)	18.3	13.2	3.9	5.4	8.2
男性(n=237)	22.8	11.8	2.5	4.6	8.4
女性(n=273)	14.7	14.7	5.1	6.2	8.1
19歳以下(n=11)	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0
20歳代(n=43)	11.6	11.6	4.7	7.0	11.6
30歳代(n=70)	11.4	10.0	4.3	5.7	10.0
40歳代(n=74)	16.2	16.2	2.7	4.1	13.5
50歳代(n=76)	15.8	11.8	5.3	6.6	5.3
60歳代(n=121)	28.1	12.4	0.8	5.8	5.8
70歳代(n=84)	21.4	16.7	6.0	3.6	9.5
80歳以上(n=34)	11.8	17.6	8.8	5.9	2.9

	建物内が暗い	駐車場が空いていなかった	困ったことや不便は特に感じない	その他	無回答
全体(n=514)	18.1	4.1	31.3	5.1	9.9
男性(n=237)	14.3	4.2	34.6	3.8	7.6
女性(n=273)	21.6	4.0	28.2	6.2	11.7
19歳以下(n=11)	18.2	0.0	27.3	18.2	18.2
20歳代(n=43)	18.6	2.3	23.3	4.7	18.6
30歳代(n=70)	31.4	2.9	25.7	4.3	8.6
40歳代(n=74)	25.7	2.7	28.4	5.4	5.4
50歳代(n=76)	22.4	3.9	35.5	5.3	5.3
60歳代(n=121)	12.4	6.6	30.6	3.3	7.4
70歳代(n=84)	8.3	3.6	41.7	6.0	9.5
80歳以上(n=34)	8.8	5.9	26.5	5.9	29.4

※網掛けは最も高い項目です。

来庁する用件別にみても、「各種証明取得」及び「国民健康保険、国民年金、後期高齢者医療制度」、「税金」、「福祉」などといった、身近な用件で来庁した市民で、「行きたい窓口がどこにあるのか分かりにくい」と感じる方が多いようです。

単位 (%)

	高齢者や障がい者、乳幼児への配慮が不十分	行きたい窓口がどこにあるのか分かりにくい	プライバシーへの配慮が足りない	待合スペースや通路が狭い	市民の憩える場所がない
各種証明取得 (n=351)	7.1	38.2	8.0	4.3	12.0
国民健康保険、国民年金、後期高齢者医療制度 (n=137)	2.2	36.5	11.7	5.1	14.6
税金 (n=86)	5.8	37.2	19.8	3.5	20.9
福祉 (n=99)	12.1	49.5	10.1	4.0	12.1
教育 (n=24)	29.2	66.7	12.5	8.3	12.5
上水道 (n=5)	60.0	20.0	20.0	0.0	40.0
環境 (n=12)	8.3	50.0	8.3	25.0	25.0
農業、商工、観光 (n=15)	13.3	20.0	13.3	0.0	6.7
都市建設 (n=7)	14.3	28.6	14.3	0.0	28.6
自治会活動や地域の課題 (n=18)	0.0	38.9	5.6	11.1	0.0
会議、説明会、打合せ (n=27)	3.7	40.7	3.7	3.7	7.4
市議会の傍聴や市議会への要望 (n=4)	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 (n=45)	8.9	15.6	2.2	2.2	8.9

	レストランや喫茶室がなく、休憩できない	トイレの場所が分かりにくい	手続きの待ち時間が長い	エレベーターがせまい、少ない	建物が古く危険を感じる
各種証明取得 (n=351)	20.5	16.2	4.3	6.6	10.3
国民健康保険、国民年金、後期高齢者医療制度 (n=137)	23.4	23.4	5.1	7.3	10.9
税金 (n=86)	25.6	22.1	3.5	10.5	8.1
福祉 (n=99)	22.2	20.2	4.0	5.1	10.1
教育 (n=24)	25.0	12.5	4.2	16.7	12.5
上水道 (n=5)	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0
環境 (n=12)	8.3	33.3	8.3	8.3	16.7
農業、商工、観光 (n=15)	26.7	13.3	6.7	6.7	0.0
都市建設 (n=7)	57.1	0.0	14.3	0.0	14.3
自治会活動や地域の課題 (n=18)	27.8	11.1	0.0	5.6	5.6
会議、説明会、打合せ (n=27)	33.3	22.2	3.7	3.7	14.8
市議会の傍聴や市議会への要望 (n=4)	25.0	0.0	25.0	50.0	25.0
その他 (n=45)	20.0	4.4	4.4	2.2	6.7

※網掛けは最も高い項目です。

単位 (%)

	建物内が暗い	駐車場が空いていなかった	困ったことや不便は特に感じない	その他	無回答
各種証明取得 (n=351)	19.7	3.4	29.6	3.7	3.7
国民健康保険、国民年金、後期高齢者医療制度 (n=137)	16.8	5.1	32.1	5.8	3.6
税金 (n=86)	18.6	5.8	30.2	7.0	2.3
福祉 (n=99)	29.3	8.1	24.2	8.1	0.0
教育 (n=24)	37.5	8.3	20.8	4.2	0.0
上水道 (n=5)	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0
環境 (n=12)	16.7	16.7	25.0	0.0	0.0
農業、商工、観光 (n=15)	6.7	6.7	46.7	0.0	0.0
都市建設 (n=7)	57.1	28.6	28.6	14.3	0.0
自治会活動や地域の課題 (n=18)	16.7	16.7	33.3	0.0	5.6
会議、説明会、打合せ (n=27)	25.9	11.1	37.0	3.7	3.7
市議会の傍聴や市議会への要望 (n=4)	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
その他 (n=45)	17.8	0.0	42.2	8.9	11.1

※網掛けは最も高い項目です。

3. 庁舎の再整備について

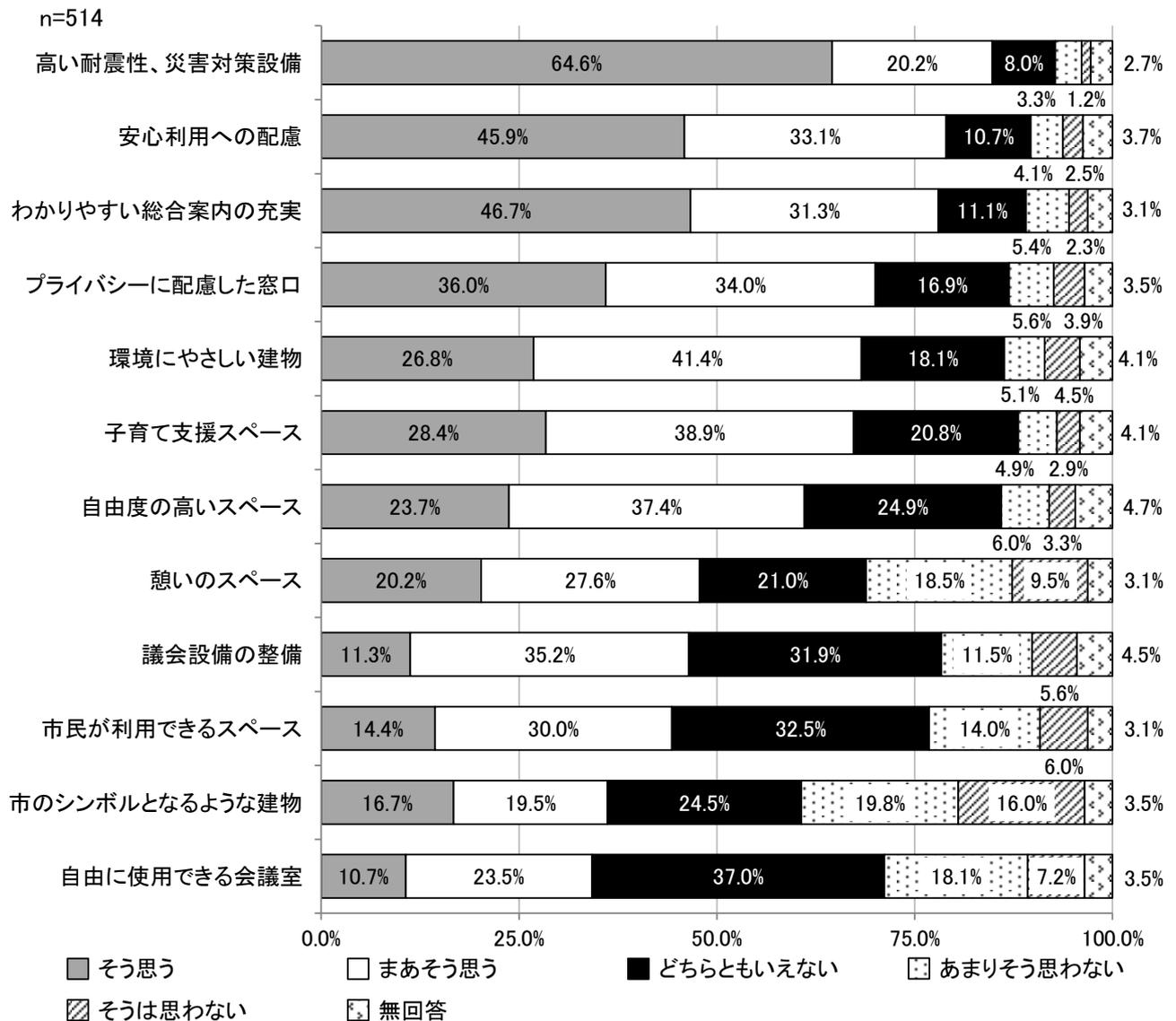
(1) 再整備で必要だと思うもの

問 12 本庁舎に関するそれぞれの問について、あなたの考えに近いものをお答えください。(複数回答)

再整備で必要だと思うものについて、「そう思う」から「そうは思わない」までの5段階でお答えいただきました。「そう思う」及び「まあそう思う」を合わせた“思う”では、「高い耐震性、災害対策設備」が84.8%で最も高く、次いで「安心利用への配慮」が79.0%、「わかりやすい総合案内の充実」が78.0%などとなっています。

一方「あまりそう思わない」及び「そうは思わない」を合わせた“思わない”では、「市のシンボルとなるような建物」が35.8%で最も高く、次いで「憩いのスペース」が28.0%、「自由に使用できる会議室」が25.3%などとなっていますが、項目ごとにみると、すべての項目で“思う”が“思わない”を上回っています。

問 12 再整備で必要だと思うもの



項目ごとにみると、以下のとおりです。

①高い耐震性、災害対策設備

高い耐震性、災害対策設備については、性別、年代別、地区別のすべてで“思う”が高くなっています。

単位（％）

	そう思う	まあそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そうは 思わない	無回答
全体(n=514)	64.6	20.2	8.0	3.3	1.2	2.7
男性(n=237)	64.6	20.7	9.7	3.0	0.8	1.3
女性(n=273)	64.5	20.1	6.6	3.3	1.5	4.0
19歳以下(n=11)	63.6	27.3	0.0	0.0	9.1	0.0
20歳代(n=43)	67.4	16.3	14.0	0.0	0.0	2.3
30歳代(n=70)	70.0	17.1	11.4	1.4	0.0	0.0
40歳代(n=74)	56.8	27.0	10.8	4.1	0.0	1.4
50歳代(n=76)	60.5	26.3	6.6	5.3	1.3	0.0
60歳代(n=121)	68.6	18.2	5.8	5.8	0.8	0.8
70歳代(n=84)	64.3	19.0	7.1	0.0	3.6	6.0
80歳以上(n=34)	61.8	11.8	2.9	5.9	0.0	17.6
昭和地区(n=148)	63.5	20.9	8.8	2.7	1.4	2.7
長浦地区(n=207)	64.3	19.3	10.6	2.9	1.0	1.9
根形地区(n=61)	75.4	16.4	1.6	3.3	1.6	1.6
平岡地区(n=53)	62.3	22.6	1.9	5.7	0.0	7.5
中川富岡地区(n=40)	55.0	27.5	7.5	5.0	2.5	2.5

※網掛けは“思う”及び「どちらともいえない」、「思わない」で比較し最も高い項目です。

高い耐震性、災害対策設備は「袖ヶ浦市庁舎整備基本計画」の庁舎全体計画に係る基本方針「1. 防災拠点としての庁舎」にあたる項目です。アンケート結果では、最も“思う”が高い項目となりました。

■袖ヶ浦市庁舎整備基本計画における庁舎全体計画に係る基本方針

1. 防災拠点としての庁舎

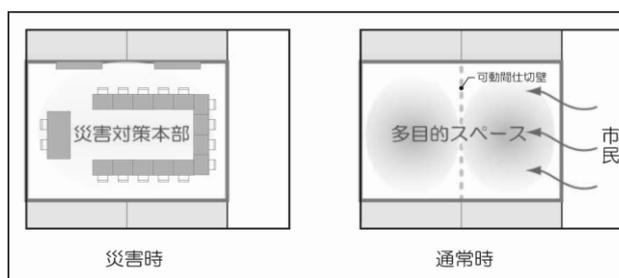
東日本大震災のもたらした甚大な被害を教訓に、災害時において、防災拠点の中心となるよう、庁舎建物の安全性と防災機能の充実、災害時にも機能できる整備環境の整った庁舎を目指します。

①建物の高い耐久性と災害対策本部となる十分なスペースの確保

- ・災害時に被災状況を把握することができる機器の設置を検討します。災害時に災害対策本部となる会議室を設置し、平時は市民開放できる多目的スペースとして整備を行います。



災害対策本部のイメージ



多目的利用できるスペースのイメージ

- ・災害時の対応として発電機設備を設置し、災害時において災害対策本部、消火栓ポンプ、給水ポンプ、排水ポンプ、非常照明等の電源確保に利用します。
- ・高い耐震性を確保するため、免震構造も検討します。また、什器備品の転倒防止など2次災害対策の検討を行います。

②災害時に的確な情報収集・整理・伝達や迅速な指示ができる防災インフラと防災機器の整備

- ・給水設備の受水槽は、耐震性に優れた構造を採用します。また、災害時における水の流出を防止し、確保できるよう緊急遮断弁の採用を検討します。
- ・雨水利用を考慮した貯留槽を設け、災害時の水源確保を図る検討をします。
- ・外部駐車場部分を利用した防災トイレ設置の計画を検討します。また、自家発電燃料の備蓄、ソーラー発電等の設備を検討します。



マンホール型防災トイレのイメージ



ソーラー発電のイメージ（立川市庁舎）

- ・災害時においても継続したガス供給の維持ができるよう、耐震性に優れた中圧ガス管の採用を検討します。
- ・停電対応型のガスヒートポンプを空調熱源に一部利用することで、災害・停電時における空調バックアップも可能な計画を検討します。

②安心利用への配慮

安心利用への配慮については、性別、年代別、地区別のすべてで“思う”が高くなっています。

単位 (%)

	そう思う	まあそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そうは 思わない	無回答
全体(n=514)	45.9	33.1	10.7	4.1	2.5	3.7
男性(n=237)	46.8	33.8	11.4	4.2	2.5	1.3
女性(n=273)	45.4	32.6	10.3	3.7	2.6	5.5
19歳以下(n=11)	63.6	27.3	0.0	0.0	9.1	0.0
20歳代(n=43)	58.1	25.6	11.6	0.0	2.3	2.3
30歳代(n=70)	48.6	35.7	11.4	1.4	2.9	0.0
40歳代(n=74)	44.6	36.5	13.5	4.1	0.0	1.4
50歳代(n=76)	39.5	39.5	13.2	5.3	2.6	0.0
60歳代(n=121)	48.8	35.5	5.8	8.3	1.7	0.0
70歳代(n=84)	38.1	31.0	13.1	2.4	4.8	10.7
80歳以上(n=34)	44.1	14.7	11.8	2.9	2.9	23.5
昭和地区(n=148)	42.6	35.8	12.2	4.1	2.0	3.4
長浦地区(n=207)	46.9	32.9	10.6	3.4	3.4	2.9
根形地区(n=61)	57.4	26.2	6.6	3.3	3.3	3.3
平岡地区(n=53)	43.4	28.3	11.3	7.5	1.9	7.5
中川富岡地区(n=40)	42.5	35.0	12.5	5.0	0.0	5.0

※網掛けは“思う”及び「どちらともいえない」、「思わない」で比較し最も高い項目です。

③わかりやすい総合案内の充実

わかりやすい総合案内の充実についても、性別、年代別、地区別のすべてで“思う”が高くなっています。

単位 (%)

	そう思う	まあそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そうは 思わない	無回答
全体(n=514)	46.7	31.3	11.1	5.4	2.3	3.1
男性(n=237)	48.5	29.5	13.1	5.5	2.1	1.3
女性(n=273)	45.8	33.0	9.2	5.5	2.2	4.4
19歳以下(n=11)	45.5	45.5	9.1	0.0	0.0	0.0
20歳代(n=43)	55.8	25.6	16.3	0.0	0.0	2.3
30歳代(n=70)	51.4	25.7	15.7	4.3	2.9	0.0
40歳代(n=74)	44.6	40.5	8.1	5.4	0.0	1.4
50歳代(n=76)	55.3	26.3	7.9	7.9	1.3	1.3
60歳代(n=121)	45.5	36.4	9.9	5.8	1.7	0.8
70歳代(n=84)	36.9	32.1	11.9	6.0	7.1	6.0
80歳以上(n=34)	38.2	17.6	11.8	8.8	2.9	20.6
昭和地区(n=148)	43.2	34.5	12.2	6.1	2.0	2.0
長浦地区(n=207)	47.3	31.9	10.6	5.3	2.4	2.4
根形地区(n=61)	57.4	26.2	9.8	0.0	3.3	3.3
平岡地区(n=53)	54.7	20.8	7.5	7.5	1.9	7.5
中川富岡地区(n=40)	30.0	40.0	15.0	10.0	2.5	2.5

※網掛けは“思う”及び「どちらともいえない」、「思わない」で比較し最も高い項目です。

安心利用への配慮及びわかりやすい総合案内の充実、憩いのスペース※の項目は「袖ヶ浦市庁舎整備基本計画」の庁舎全体計画に係る基本方針「2. 市民サービスとユニバーサルデザインに配慮した庁舎」にあたる項目です。安心利用への配慮及びわかりやすい総合案内の充実は、アンケート結果では、高い耐震性、災害対策設備に次いで“思う”が高い項目となりました。

※憩いのスペースは後述

■袖ヶ浦市庁舎整備基本計画における庁舎全体計画に係る基本方針

2. 市民サービスとユニバーサルデザインに配慮した庁舎

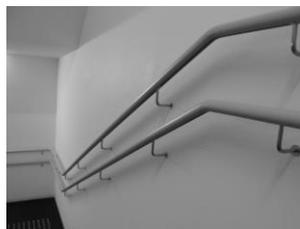
ユニバーサルデザインやわかりやすいサインを採用し、誰にとっても利用しやすい庁舎とし、高齢者や障害者などを含む、すべての来庁者にとって利便性の高い窓口空間の実現を目指します。

①ユニバーサルデザインの採用

- ・高齢者や障害者などにも利用しやすい空間となるように、フラットな床の採用やオストメイト（人工肛門や人工ぼうこうを使用されている方）対応の多機能トイレの設置、子どもから高齢者まで安全に階段を利用できるよう十分な通路幅と二重手摺の設置を検討します。
- ・多機能トイレに呼び出し装置の設置を検討します。また音声誘導装置や館内音声案内システムの採用を検討します。



多機能トイレのイメージ



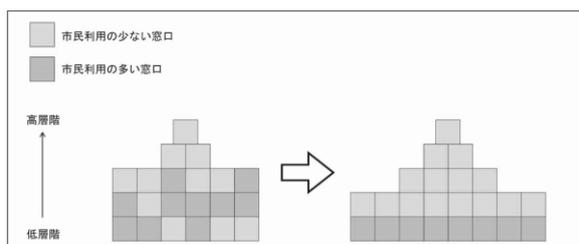
二重手摺のイメージ
(福生市庁舎)



呼び出し装置のイメージ

②市民の利用しやすい窓口空間

- ・市民利用の多い窓口機能を1階に集約配置し、利便性の向上を図ります。市民利用ゾーンと執務ゾーンの明確なゾーニングを行い、動線の交錯を避ける計画を検討します。
- ・ユニバーサルデザインを採用し、より効果的なサインや案内表示の設置を計画します。
- ・休憩コーナーや自動販売機を設置し、市民サービスの向上を図ります。※憩いのスペース
- ・採光・換気・通風を考慮した設計を行うとともに、シックハウス対策に配慮した計画を検討します。



窓口機能の1階集約配置イメージ



案内表示板のイメージ (立川市庁舎)

④プライバシーに配慮した窓口

プライバシーに配慮した窓口についても、性別、年代別、地区別のすべてで“思う”が高くなっています。

単位 (%)

	そう思う	まあそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そうは 思わない	無回答
全体(n=514)	36.0	34.0	16.9	5.6	3.9	3.5
男性(n=237)	34.2	37.1	15.2	6.3	5.1	2.1
女性(n=273)	38.1	31.9	18.3	5.1	2.2	4.4
19歳以下(n=11)	63.6	36.4	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代(n=43)	32.6	44.2	16.3	4.7	0.0	2.3
30歳代(n=70)	41.4	31.4	21.4	2.9	2.9	0.0
40歳代(n=74)	37.8	40.5	14.9	5.4	0.0	1.4
50歳代(n=76)	40.8	30.3	18.4	6.6	3.9	0.0
60歳代(n=121)	37.2	38.0	12.4	5.8	5.0	1.7
70歳代(n=84)	28.6	23.8	21.4	10.7	8.3	7.1
80歳以上(n=34)	17.6	32.4	20.6	0.0	5.9	23.5
昭和地区(n=148)	33.1	33.1	20.9	5.4	4.7	2.7
長浦地区(n=207)	35.7	38.2	14.0	5.3	3.4	3.4
根形地区(n=61)	41.0	34.4	14.8	3.3	3.3	3.3
平岡地区(n=53)	43.4	24.5	17.0	7.5	0.0	7.5
中川富岡地区(n=40)	32.5	32.5	20.0	5.0	7.5	2.5

※網掛けは“思う”及び「どちらともいえない」、「思わない」で比較し最も高い項目です。

⑤市民が利用できるスペース

市民が利用できるスペースについては、おおむね“思う”が高い傾向にあります。

単位 (%)

	そう思う	まあそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そうは 思わない	無回答
全体(n=514)	14.4	30.0	32.5	14.0	6.0	3.1
男性(n=237)	17.3	32.5	29.1	13.1	7.2	0.8
女性(n=273)	12.1	28.2	35.2	15.0	4.8	4.8
19歳以下(n=11)	36.4	9.1	45.5	0.0	9.1	0.0
20歳代(n=43)	20.9	20.9	39.5	14.0	2.3	2.3
30歳代(n=70)	17.1	31.4	34.3	10.0	7.1	0.0
40歳代(n=74)	4.1	43.2	41.9	5.4	4.1	1.4
50歳代(n=76)	10.5	27.6	39.5	15.8	6.6	0.0
60歳代(n=121)	15.7	36.4	24.0	16.5	7.4	0.0
70歳代(n=84)	14.3	20.2	26.2	23.8	8.3	7.1
80歳以上(n=34)	17.6	23.5	26.5	8.8	0.0	23.5
昭和地区(n=148)	12.8	30.4	30.4	16.9	6.8	2.7
長浦地区(n=207)	15.9	28.0	38.6	10.1	5.3	1.9
根形地区(n=61)	18.0	32.8	23.0	16.4	6.6	3.3
平岡地区(n=53)	11.3	32.1	30.2	15.1	3.8	7.5
中川富岡地区(n=40)	10.0	35.0	25.0	15.0	10.0	5.0

※網掛けは“思う”及び「どちらともいえない」、「思わない」で比較し最も高い項目です。

⑥自由に使用できる会議室

自由に使用できる会議室については、「どちらともいえない」が高い傾向にあります
が、“思う”が“思わない”よりも高い割合となっています。

単位（％）

	そう思う	まあそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そうは 思わない	無回答
全体(n=514)	10.7	23.5	37.0	18.1	7.2	3.5
男性(n=237)	11.8	23.6	37.1	18.6	7.6	1.3
女性(n=273)	9.9	23.8	37.0	17.6	6.6	5.1
19歳以下(n=11)	27.3	18.2	45.5	9.1	0.0	0.0
20歳代(n=43)	11.6	20.9	46.5	14.0	4.7	2.3
30歳代(n=70)	15.7	17.1	41.4	15.7	8.6	1.4
40歳代(n=74)	4.1	27.0	51.4	9.5	6.8	1.4
50歳代(n=76)	9.2	30.3	34.2	19.7	6.6	0.0
60歳代(n=121)	10.7	24.8	36.4	19.0	7.4	1.7
70歳代(n=84)	11.9	21.4	20.2	28.6	11.9	6.0
80歳以上(n=34)	8.8	20.6	29.4	17.6	0.0	23.5
昭和地区(n=148)	10.1	24.3	35.1	20.9	4.7	4.7
長浦地区(n=207)	10.6	22.7	39.1	18.4	7.7	1.4
根形地区(n=61)	14.8	24.6	27.9	18.0	9.8	4.9
平岡地区(n=53)	7.5	20.8	43.4	11.3	9.4	7.5
中川富岡地区(n=40)	10.0	30.0	35.0	17.5	5.0	2.5

※網掛けは“思う”及び「どちらともいえない」、「思わない」で比較し最も高い項目です。

市民が利用できるスペース及び自由に使用できる会議室、議会設備の整備*の項目は「袖ヶ浦市庁舎整備基本計画」の庁舎全体計画に係る基本方針「3. 市民活動の場として開かれた庁舎」にあたる項目です。アンケート結果では、自由に使用できる会議室で「どちらともいえない」が最も高くなっていますが、“思う”が“思わない”を上回っています。

※議会設備の整備は後述

■袖ヶ浦市庁舎整備基本計画における庁舎全体計画に係る基本方針

3. 市民活動の場として開かれた庁舎

市民に開かれた庁舎を目指し、市民開放できるスペースの計画を検討します。市や各種団体の情報発信、情報交流の場として整備を行い、市民協働の施設となる庁舎を目指します。

①多目的に利用できる議場やロビー

- ・催事や式典などの多目的利用もできるように、レベル差のないフラットな床を採用し、必要に応じて市民にも利用可能となる整備を検討します。



多目的利用できる議場のイメージ（千代田区役所）

②「開かれた議会」を目指す配慮

- ・「開かれた議会」を目指し、誰もが訪れやすい傍聴席を整備するほか、議会の状況をわかりやすく伝える議会設備の導入を検討します。※議会設備の整備

③市民の自主活動を支える行政との情報交流の場

- ・市民ボランティアやNPO等と連携し、市民との協働を深めるため、市や各種団体の情報発信や意見交換の場としての整備を計画します。
- ・イベント情報公開等において、誰もが見やすい表示掲示板の導入を検討します。

⑦憩いのスペース

憩いのスペースについては、おおむね“思う”が高い傾向にあります。

単位 (%)

	そう思う	まあそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そうは 思わない	無回答
全体(n=514)	20.2	27.6	21.0	18.5	9.5	3.1
男性(n=237)	25.3	26.2	19.4	16.9	11.4	0.8
女性(n=273)	16.1	29.3	22.3	19.8	7.7	4.8
19歳以下(n=11)	36.4	36.4	0.0	9.1	18.2	0.0
20歳代(n=43)	16.3	34.9	27.9	11.6	7.0	2.3
30歳代(n=70)	22.9	30.0	21.4	21.4	4.3	0.0
40歳代(n=74)	21.6	27.0	23.0	17.6	9.5	1.4
50歳代(n=76)	13.2	36.8	22.4	21.1	6.6	0.0
60歳代(n=121)	23.1	28.1	21.5	16.5	10.7	0.0
70歳代(n=84)	19.0	17.9	16.7	21.4	17.9	7.1
80歳以上(n=34)	17.6	14.7	20.6	20.6	2.9	23.5
昭和地区(n=148)	17.6	29.7	22.3	19.6	7.4	3.4
長浦地区(n=207)	19.8	26.6	24.2	16.4	11.1	1.9
根形地区(n=61)	29.5	24.6	19.7	16.4	6.6	3.3
平岡地区(n=53)	15.1	28.3	18.9	20.8	9.4	7.5
中川富岡地区(n=40)	22.5	32.5	5.0	22.5	15.0	2.5

※網掛けは“思う”及び「どちらともいえない」、「思わない」で比較し最も高い項目です。

⑧市のシンボルとなるような建物

市のシンボルとなるような建物については、性別、年代別、地区別のすべてで傾向が分かれています。高い項目のうち半数を超えているのは、19歳以下の“思う(63.6%)”のみとなっています。

単位 (%)

	そう思う	まあそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そうは 思わない	無回答
全体(n=514)	16.7	19.5	24.5	19.8	16.0	3.5
男性(n=237)	18.6	21.1	23.2	17.3	18.6	1.3
女性(n=273)	15.4	18.3	25.6	22.0	13.6	5.1
19歳以下(n=11)	54.5	9.1	9.1	9.1	18.2	0.0
20歳代(n=43)	18.6	27.9	30.2	16.3	4.7	2.3
30歳代(n=70)	17.1	18.6	21.4	21.4	21.4	0.0
40歳代(n=74)	6.8	17.6	37.8	24.3	12.2	1.4
50歳代(n=76)	11.8	19.7	26.3	26.3	15.8	0.0
60歳代(n=121)	15.7	18.2	25.6	18.2	20.7	1.7
70歳代(n=84)	25.0	20.2	14.3	19.0	15.5	6.0
80歳以上(n=34)	17.6	20.6	14.7	8.8	11.8	26.5
昭和地区(n=148)	15.5	21.6	21.6	20.3	16.9	4.1
長浦地区(n=207)	13.5	19.3	26.1	23.2	15.5	2.4
根形地区(n=61)	27.9	21.3	23.0	11.5	13.1	3.3
平岡地区(n=53)	17.0	7.5	26.4	24.5	17.0	7.5
中川富岡地区(n=40)	17.5	25.0	27.5	7.5	20.0	2.5

※網掛けは“思う”及び「どちらともいえない」、「思わない」で比較し最も高い項目です。

⑨環境にやさしい建物

環境にやさしい建物については、性別、年代別、地区別のすべてで“思う”が半数を超えて高くなっています。

単位（％）

	そう思う	まあそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そうは 思わない	無回答
全体(n=514)	26.8	41.4	18.1	5.1	4.5	4.1
男性(n=237)	29.1	43.5	15.2	5.9	4.6	1.7
女性(n=273)	24.9	40.3	20.5	4.0	4.4	5.9
19歳以下(n=11)	36.4	54.5	9.1	0.0	0.0	0.0
20歳代(n=43)	32.6	30.2	27.9	7.0	0.0	2.3
30歳代(n=70)	30.0	41.4	22.9	2.9	2.9	0.0
40歳代(n=74)	16.2	45.9	29.7	2.7	2.7	2.7
50歳代(n=76)	23.7	48.7	15.8	5.3	5.3	1.3
60歳代(n=121)	28.1	45.5	12.4	7.4	6.6	0.0
70歳代(n=84)	31.0	34.5	14.3	6.0	6.0	8.3
80歳以上(n=34)	23.5	29.4	8.8	2.9	5.9	29.4
昭和地区(n=148)	25.0	35.8	24.3	6.8	4.7	3.4
長浦地区(n=207)	22.2	51.2	14.5	3.9	4.8	3.4
根形地区(n=61)	47.5	32.8	11.5	1.6	3.3	3.3
平岡地区(n=53)	18.9	35.8	22.6	7.5	5.7	9.4
中川富岡地区(n=40)	35.0	35.0	15.0	7.5	2.5	5.0

※網掛けは“思う”及び「どちらともいえない」、「思わない」で比較し最も高い項目です。

環境にやさしい建物の項目は「袖ヶ浦市庁舎整備基本計画」の庁舎全体計画に係る基本方針「4. 経済的で環境に配慮した庁舎」にあたる項目です。アンケート結果では、“思う”が7割弱を占めています。

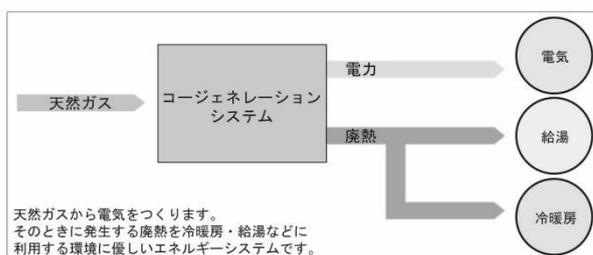
■袖ヶ浦市庁舎整備基本計画における庁舎全体計画に係る基本方針

4. 経済的で環境に配慮した庁舎

快適で安全な室内環境の整備と省エネルギー化を目指し、自然エネルギーを活用した環境に優しい庁舎を目指します。

①LCC（ライフサイクルコスト）の縮減

- ・快適で安全な室内環境と省エネルギー化を目指し、各種機器の運転状況をモニタリングし、記録や制御を行うビル管理システムの導入を検討します。
- ・庁舎の各種設備には、コージェネレーションシステム、高効率機器や長寿命機材の採用を検討し、導入時のインシャルコストのほか更新までに掛かるランニングコストも念頭においた比較検討を行い、LCCの縮減に配慮します。



コージェネレーションシステムイメージ

- ・衛生器具、水栓類は節水機能が付いた器具を優先的に採用します。また高効率・長寿命の設備機器の採用を検討します。
- ・トイレ、給湯室、更衣室等は人感センサーを積極的に採用します。共用部分については、LED照明を採用します。

②自然エネルギーの活用

- ・快適で健康的な空間とするため、太陽光・地中熱・風力などの自然エネルギーを活用し、環境に優しい低炭素化に配慮した庁舎を目指します。
- ・自然エネルギーの活用を積極的に行うとともに、自然エネルギー使用状況などの表示を来庁者に見えるシステムを計画します。



自然エネルギー使用量の表示イメージ（立川市庁舎）

⑩議会設備の整備

議会の状況をわかりやすく伝える議会設備の整備については、性別、年代別、地区別のおおむねすべてで“思う”が高くなっています。

単位 (%)

	そう思う	まあそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そうは 思わない	無回答
全体(n=514)	11.3	35.2	31.9	11.5	5.6	4.5
男性(n=237)	13.9	36.3	30.4	11.0	5.9	2.5
女性(n=273)	8.8	34.8	33.3	11.7	5.5	5.9
19歳以下(n=11)	27.3	27.3	45.5	0.0	0.0	0.0
20歳代(n=43)	7.0	27.9	48.8	9.3	4.7	2.3
30歳代(n=70)	14.3	28.6	31.4	18.6	5.7	1.4
40歳代(n=74)	8.1	32.4	50.0	5.4	2.7	1.4
50歳代(n=76)	13.2	36.8	30.3	14.5	3.9	1.3
60歳代(n=121)	11.6	43.8	24.0	10.7	8.3	1.7
70歳代(n=84)	8.3	35.7	23.8	14.3	8.3	9.5
80歳以上(n=34)	11.8	32.4	20.6	5.9	2.9	26.5
昭和地区(n=148)	10.1	31.8	31.8	14.2	8.1	4.1
長浦地区(n=207)	9.7	38.6	32.4	10.6	5.8	2.9
根形地区(n=61)	16.4	37.7	29.5	6.6	3.3	6.6
平岡地区(n=53)	11.3	26.4	34.0	15.1	3.8	9.4
中川富岡地区(n=40)	15.0	40.0	27.5	10.0	2.5	5.0

※網掛けは“思う”及び「どちらともいえない」、「思わない」で比較し最も高い項目です。

⑪子育て支援スペース

子育て支援スペースについては、性別、年代別、地区別のすべてで“思う”が高くなっており、おおむねすべてで“思わない”が1割に満たない結果となっています。

単位 (%)

	そう思う	まあそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そうは 思わない	無回答
全体(n=514)	28.4	38.9	20.8	4.9	2.9	4.1
男性(n=237)	31.2	41.8	16.9	6.3	2.5	1.3
女性(n=273)	26.4	36.6	24.5	3.3	2.9	6.2
19歳以下(n=11)	45.5	27.3	27.3	0.0	0.0	0.0
20歳代(n=43)	37.2	34.9	20.9	4.7	0.0	2.3
30歳代(n=70)	42.9	35.7	14.3	4.3	2.9	0.0
40歳代(n=74)	27.0	43.2	24.3	1.4	2.7	1.4
50歳代(n=76)	21.1	47.4	21.1	6.6	2.6	1.3
60歳代(n=121)	26.4	44.6	19.8	5.0	3.3	0.8
70歳代(n=84)	26.2	27.4	25.0	7.1	6.0	8.3
80歳以上(n=34)	11.8	35.3	17.6	5.9	0.0	29.4
昭和地区(n=148)	25.7	35.1	25.0	5.4	4.7	4.1
長浦地区(n=207)	28.5	42.5	20.3	3.9	2.4	2.4
根形地区(n=61)	37.7	36.1	13.1	6.6	1.6	4.9
平岡地区(n=53)	24.5	41.5	18.9	5.7	1.9	7.5
中川富岡地区(n=40)	27.5	35.0	22.5	5.0	2.5	7.5

※網掛けは“思う”及び「どちらともいえない」、「思わない」で比較し最も高い項目です。

⑫自由度の高いスペース

将来の変化に対応できる自由度の高いスペースについては、性別、年代別、地区別のすべてで“思う”が最も高くなっています。

単位（％）

	そう思う	まあそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そうは 思わない	無回答
全体(n=514)	23.7	37.4	24.9	6.0	3.3	4.7
男性(n=237)	29.5	34.2	24.1	5.5	4.6	2.1
女性(n=273)	18.7	40.7	25.3	6.6	2.2	6.6
19歳以下(n=11)	36.4	36.4	27.3	0.0	0.0	0.0
20歳代(n=43)	30.2	39.5	23.3	4.7	0.0	2.3
30歳代(n=70)	28.6	34.3	30.0	4.3	2.9	0.0
40歳代(n=74)	18.9	39.2	31.1	4.1	2.7	4.1
50歳代(n=76)	21.1	35.5	31.6	6.6	3.9	1.3
60歳代(n=121)	23.1	43.8	19.8	8.3	3.3	1.7
70歳代(n=84)	16.7	39.3	20.2	8.3	6.0	9.5
80歳以上(n=34)	35.3	14.7	17.6	2.9	2.9	26.5
昭和地区(n=148)	20.3	39.9	25.0	8.1	2.0	4.7
長浦地区(n=207)	22.2	38.6	24.6	5.3	5.8	3.4
根形地区(n=61)	34.4	36.1	19.7	4.9	1.6	3.3
平岡地区(n=53)	22.6	26.4	34.0	5.7	1.9	9.4
中川富岡地区(n=40)	30.0	42.5	20.0	2.5	0.0	5.0

※網掛けは“思う”及び「どちらともいえない」、「思わない」で比較し最も高い項目です。

自由度の高いスペースの項目は「袖ヶ浦市庁舎整備基本計画」の庁舎全体計画に係る基本方針「5. 将来変化に対応できる庁舎」にあたる項目です。アンケート結果では、「そう思う」及び「まあそう思う」を合わせた“思う”が61.1%となりました。

■袖ヶ浦市庁舎整備基本計画における庁舎全体計画に係る基本方針

5. 将来変化に対応できる庁舎

高度情報化への対応やセキュリティ機能の向上などのほか、職員にとって快適で働きやすい執務環境の実現を目指します。

①高度情報化に対応した執務空間

- ・情報管理機能の向上のため、システムサーバーの集約化を検討します。
- ・OA機器の移動・更新に対応するため、床のOAフロア化を計画します。

②セキュリティ機能の向上

- ・情報保持のため、執務室におけるセキュリティ対策の強化を目指します。

③働きやすい環境づくり

- ・市民ニーズの変化や行政組織の改正に伴う将来的なレイアウト変更を見据え、執務室や書庫・倉庫・収納の適切な配置を検討し、いつでも働きやすい執務環境整備に配慮します。

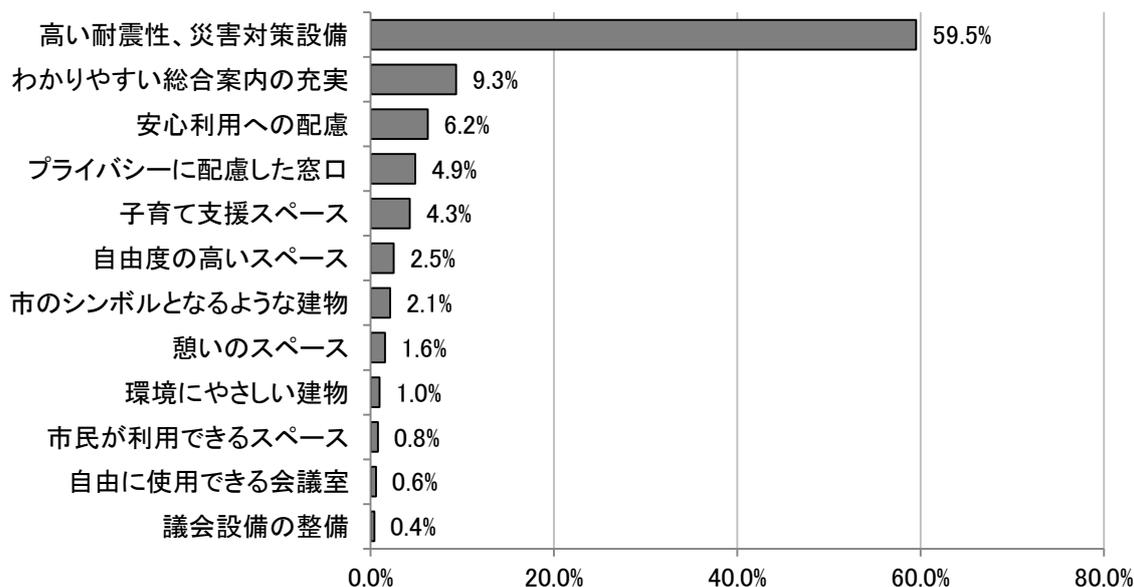
(2) 問12の項目のうち、最も重要だと思うもの

問13 上記の12項目のうち、最も重要だと思うものはなんですか。第1位から第3位まででお答えください。(第1位から第3位まで、項目番号を記入)

①第1位

問12の項目のうち、最も重要だと思うものの第1位については、「高い耐震性、災害対策設備」が59.5%で最も高く、次いで「わかりやすい総合案内の充実」が9.3%、「安心利用への配慮」が6.2%などとなっています。

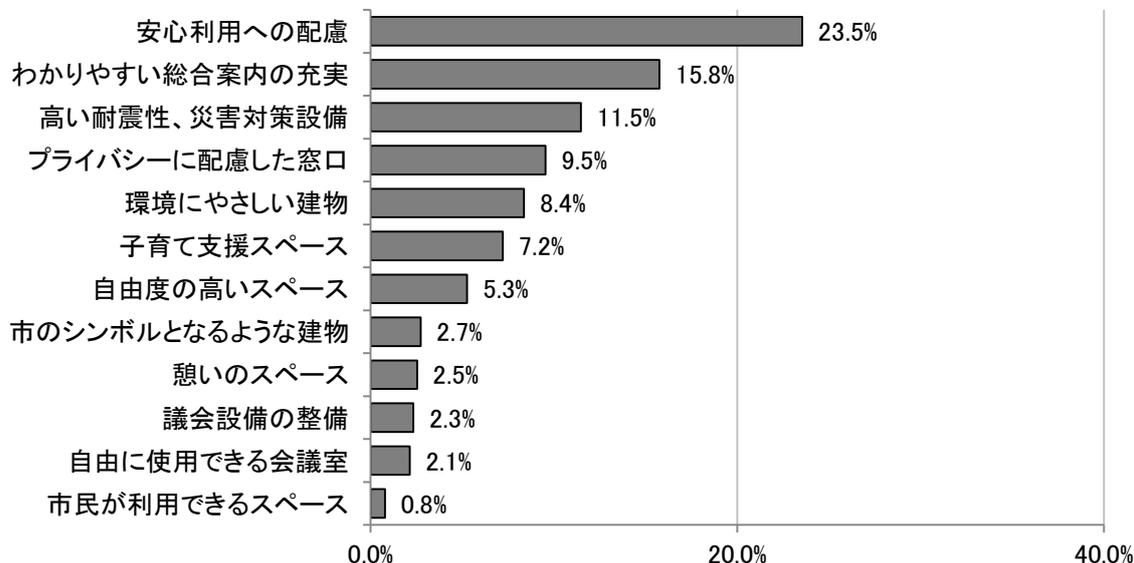
n=514 問13【第1位】問12の項目のうち、最も重要だと思うもの



②第2位

問12の項目のうち、最も重要だと思うものの第2位については、「安心利用への配慮」が23.5%で最も高く、次いで「わかりやすい総合案内の充実」が15.8%、「高い耐震性、災害対策設備」が11.5%などとなっています。

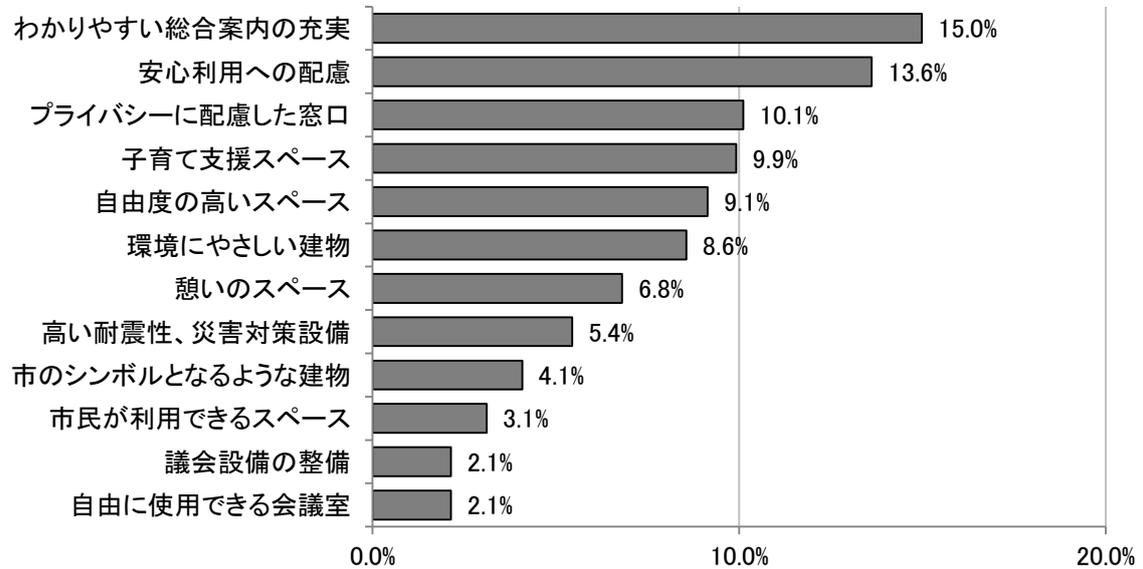
n=514 問13【第2位】問12の項目のうち、最も重要だと思うもの



③第3位

問12の項目のうち、最も重要だと思うものの第3位については、「わかりやすい総合案内の充実」が15.0%で最も高く、次いで「安心利用への配慮」が13.6%、「プライバシーに配慮した窓口」が10.1%などとなっています。

n=514 問13 【第3位】問12の項目のうち、最も重要だと思うもの

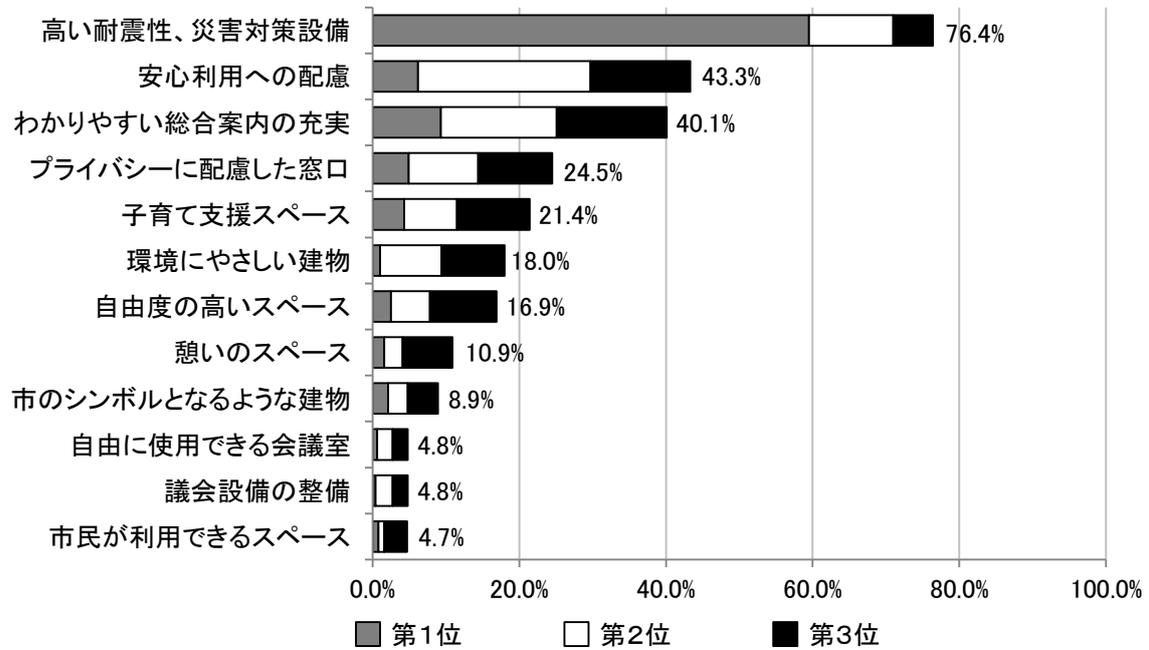


④総合順位

問12の項目のうち、最も重要だと思うものの総合順位については、「高い耐震性、災害対策設備」が76.4%で最も高く、次いで「安心利用への配慮」が43.3%、「わかりやすい総合案内の充実」が40.1%などとなっています。

n=514

問13 【総合順位】問12の項目のうち、最も重要だと思うもの



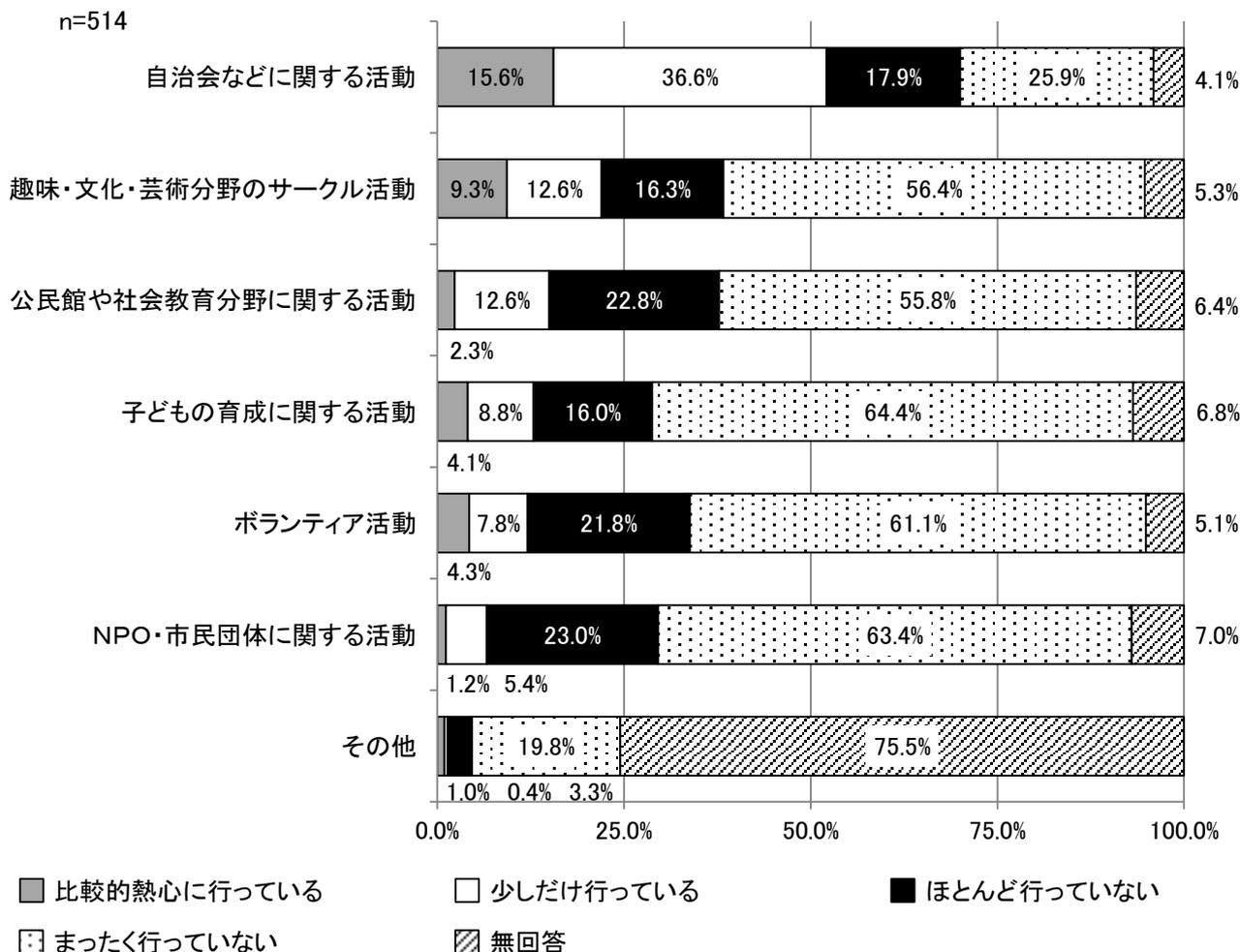
4. 市民活動・協働について

(1) 日ごろ行っている市民活動や協働に関する活動について

問 14 あなたは、日ごろ市民活動や協働に関する活動を行っていますか。以下の各活動の活動頻度についてお答えください。(単一回答)

日ごろ行っている市民活動や協働に関する活動については、「比較的熱心に行っている」と及び「少しだけ行っている」を合わせた“行っている”では、「自治会などに関する活動」が52.2%で最も高く、次いで「趣味・文化・芸術分野のサークル活動」が21.9%、「公民館や社会教育分野に関する活動」が14.9%などとなっています。

問 14 日ごろ行っている市民活動や協働に関する活動について



【その他の活動】

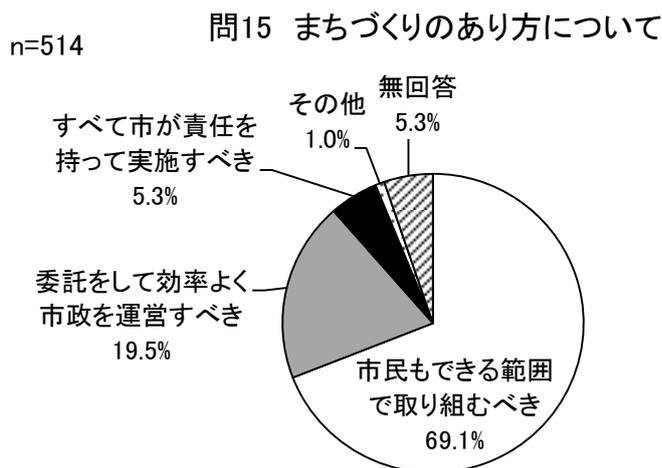
その他の活動として挙げたものは以下のとおりです。

- ・ 消防団活動
- ・ 運動教室

(2) まちづくりのあり方について

問 15 袖ヶ浦市は市民協働のまちづくりを推進しています。まちづくりのあり方についてのあなたのお考えに最も近いものをお答えください。(単一回答)

まちづくりのあり方については、「市民もできる範囲で取り組むべき」が69.1%で7割弱を占め、「委託をして効率よく市政を運営すべき」が19.5%と続きます。一方、「すべて市が責任を持って実施すべき」は5.3%となっています。



性別、年代別、地区別、居住年数別にみても、おおむねすべてで同様の傾向にあります。

単位 (%)

	すべて市が責任を持って実施すべき	市民もできる範囲で取り組むべき	委託をして効率よく市政を運営すべき	その他	無回答
全体 (n=514)	5.3	69.1	19.5	1.0	5.3
男性 (n=237)	6.3	63.3	24.9	1.3	4.2
女性 (n=273)	4.4	74.4	15.0	0.7	5.5
19歳以下 (n=11)	9.1	45.5	45.5	0.0	0.0
20歳代 (n=43)	11.6	67.4	20.9	0.0	0.0
30歳代 (n=70)	2.9	72.9	20.0	1.4	2.9
40歳代 (n=74)	2.7	70.3	23.0	0.0	4.1
50歳代 (n=76)	3.9	69.7	22.4	1.3	2.6
60歳代 (n=121)	5.0	74.4	16.5	0.8	3.3
70歳代 (n=84)	6.0	66.7	15.5	1.2	10.7
80歳以上 (n=34)	8.8	55.9	11.8	2.9	20.6
昭和地区 (n=148)	5.4	70.3	16.2	0.7	7.4
長浦地区 (n=207)	5.8	68.6	20.3	1.9	3.4
根形地区 (n=61)	6.6	72.1	16.4	0.0	4.9
平岡地区 (n=53)	1.9	60.4	30.2	0.0	7.5
中川富岡地区 (n=40)	2.5	77.5	15.0	0.0	5.0
3年未満 (n=36)	11.1	69.4	19.4	0.0	0.0
3年以上5年未満 (n=19)	0.0	47.4	52.6	0.0	0.0
5年以上10年未満 (n=75)	3.4	58.6	27.6	0.0	10.3
10年以上20年未満 (n=355)	10.7	65.3	21.3	1.3	1.3
20年以上 (n=40)	3.9	71.8	16.6	1.1	6.5

※網掛けは最も高い項目です。

問 14 の「日ごろ行っている市民活動や協働に関する活動の参加状況」の“行っている”及び“行っていない”についてみると、いずれも「市民もできる範囲で取り組むべき」が最も高くなっています。

“行っていない”では、“行っている”にくらべ「委託をして効率よく市政を運営すべき」の割合が高い傾向にあります。

単位 (%)

	すべて市が責任を持って実施すべき	市民もできる範囲で取り組むべき	委託をして効率よく市政を運営すべき	その他	無回答
活動を行っている(n=330)	4.2	73.6	17.6	0.9	3.6
活動を行っていない(n=167)	7.8	65.3	24.6	1.2	1.2

※網掛けは最も高い項目です。

(3) 興味・関心のある市民活動や協働に関する活動について

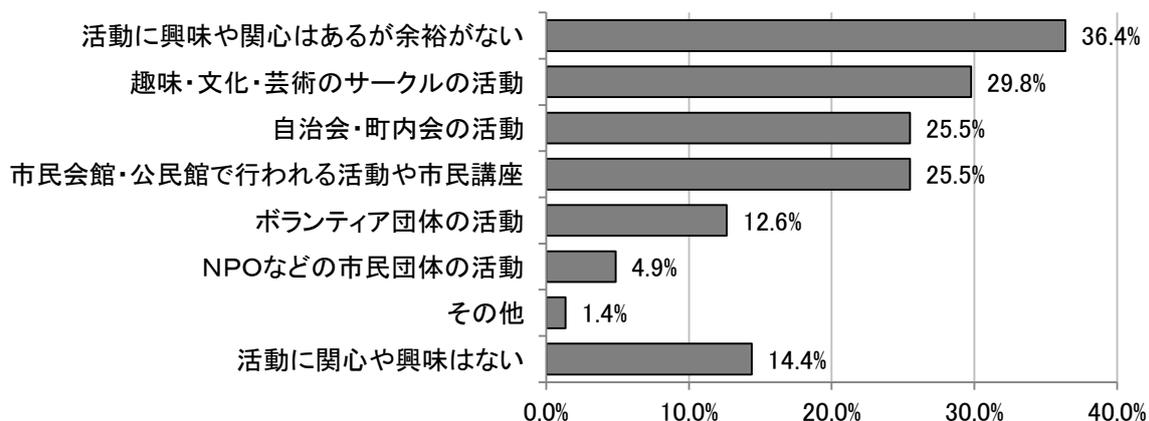
問 16 あなたは、どのような市民活動や協働に関する活動に関心がありますか。

(複数回答)

興味・関心のある市民活動や協働に関する活動については、「活動に興味や関心はあるが余裕がない」が 36.4%で最も高く、次いで「趣味・文化・芸術のサークルの活動」が 29.8%、「自治会・町内会の活動」及び「市民会館・公民館で行われる活動や市民講座」が 25.5%などとなっています。

一方、「活動に関心や興味はない」は 14.4%となっています。

n=514 問16 興味・関心のある市民活動や協働に関する活動について



年代別にみると、19歳以下では「活動に関心や興味はない」が最も高く、20歳代は「趣味・文化・芸術のサークルの活動」、30歳代から50歳代では「活動に興味や関心はあるが余裕がない」の割合が最も高くなっています。60歳代では「自治会・町内会の活動」、70歳代と80歳以上では「市民会館・各地区の公民館で行われる活動や各種の市民講座」がそれぞれ最も高くなっており、年代によって傾向が分かれています。

単位 (%)

	NPOなどの市民団体の活動	自治会・町内会の活動	市民会館・各地区の公民館で行われる活動や各種の市民講座	ボランティア団体の活動	趣味・文化・芸術のサークルの活動
全体(n=514)	4.9	25.5	25.5	12.6	29.8
男性(n=237)	4.2	29.5	18.6	12.7	27.4
女性(n=273)	5.5	22.0	31.5	12.8	31.9
19歳以下(n=11)	9.1	27.3	0.0	9.1	9.1
20歳代(n=43)	0.0	11.6	9.3	14.0	30.2
30歳代(n=70)	5.7	15.7	15.7	10.0	30.0
40歳代(n=74)	1.4	18.9	23.0	9.5	20.3
50歳代(n=76)	5.3	34.2	19.7	10.5	31.6
60歳代(n=121)	7.4	32.2	29.8	18.2	31.4
70歳代(n=84)	4.8	27.4	44.0	13.1	41.7
80歳以上(n=34)	5.9	29.4	32.4	8.8	17.6

	活動に興味や関心はあるが余裕がない	活動に関心や興味はない	その他	無回答
全体(n=514)	36.4	14.4	1.4	4.5
男性(n=237)	35.4	16.0	0.8	4.6
女性(n=273)	37.7	13.2	1.8	4.0
19歳以下(n=11)	36.4	45.5	0.0	0.0
20歳代(n=43)	27.9	27.9	0.0	2.3
30歳代(n=70)	45.7	20.0	0.0	1.4
40歳代(n=74)	52.7	14.9	0.0	4.1
50歳代(n=76)	42.1	10.5	2.6	3.9
60歳代(n=121)	30.6	13.2	0.0	3.3
70歳代(n=84)	28.6	7.1	2.4	4.8
80歳以上(n=34)	17.6	5.9	8.8	20.6

※網掛けは最も高い項目です。

問 14 の「日ごろ行っている市民活動や協働に関する活動の参加状況」の“行っている”及び“行っていない”についてみると、“行っている”では「趣味・文化・芸術のサークルの活動」の関心が最も高く、次いで「自治会・町内会の活動」、「市民会館・各地区の公民館で行われる活動や各種の市民講座」と続きますが、いずれも3割を超えています。

一方“行っていない”では「活動に興味や関心はあるが余裕がない」が46.7%で最も高くなっています。

単位 (%)

	NPOなどの市民団体の活動	自治会・町内会の活動	市民会館・各地区の公民館で行われる活動や各種の市民講座	ボランティア団体の活動	趣味・文化・芸術のサークルの活動
活動を行っている (n=330)	6.4	33.3	31.8	15.5	35.8
活動を行っていない (n=167)	2.4	12.0	15.6	8.4	20.4

	活動に興味や関心はあるが余裕がない	活動に関心や興味はない	その他	無回答
活動を行っている (n=330)	32.7	8.8	1.2	2.1
活動を行っていない (n=167)	46.7	26.3	1.8	1.2

※網掛けは最も高い項目です。

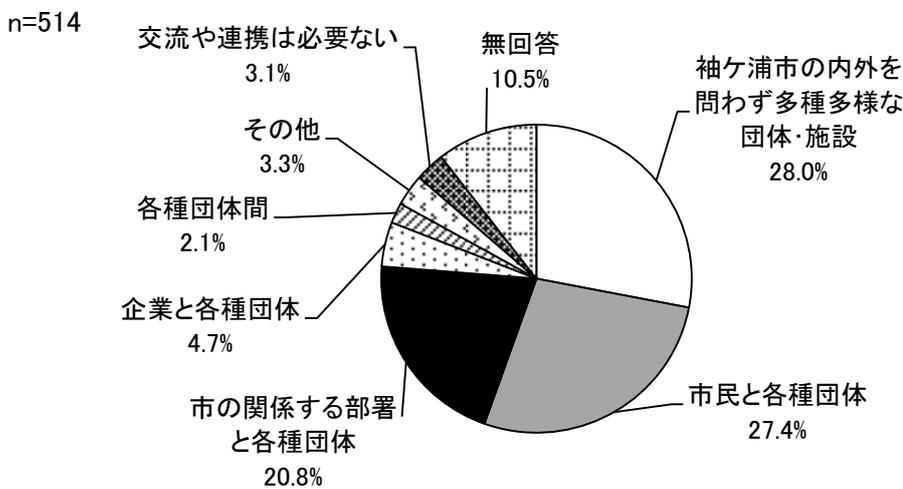
5. 「市や各種(市民)団体の情報発信、交流の場として市民に開放できるスペース」について

(1) 「市民に開放できるスペース」を活用した交流について

問17 協働によるまちづくりを進めるためには、市や各種団体及び市民の交流や連携が欠かせません。市民活動・協働の促進のために市庁舎内に計画する「市や各種団体の情報発信、交流の場として市民に開放できるスペース」を活用して、どのような交流や連携が進むことを望みますか。(単一回答)

「市民に開放できるスペース」を活用した交流については、「袖ヶ浦市の内外を問わず多種多様な団体・施設」が28.0%、「市民と各種団体」が27.4%、「市の関係する部署と各種団体」が20.8%などとなっています。

問17 「市民に開放できるスペース」を活用した交流について



上記の問については、性別、年代別、地区別にみても同様の傾向にあります。

単位 (%)

	市の関係する部署と各種団体	各種団体間	企業と各種団体	市民と各種団体	袖ヶ浦市の内外を問わず多種多様な団体・施設	交流や連携は必要ない	その他	無回答
全体(n=514)	20.8	2.1	4.7	27.4	28.0	3.1	3.3	10.5
男性(n=237)	23.2	2.5	6.3	26.2	24.9	4.2	3.0	9.7
女性(n=273)	19.0	1.5	3.3	28.6	31.1	1.8	3.7	11.0
19歳以下(n=11)	27.3	9.1	9.1	27.3	18.2	0.0	9.1	0.0
20歳代(n=43)	23.3	2.3	14.0	25.6	23.3	4.7	2.3	4.7
30歳代(n=70)	12.9	2.9	10.0	22.9	42.9	0.0	2.9	5.7
40歳代(n=74)	21.6	1.4	2.7	27.0	32.4	1.4	4.1	9.5
50歳代(n=76)	22.4	0.0	5.3	35.5	26.3	3.9	5.3	1.3
60歳代(n=121)	18.2	2.5	1.7	27.3	33.1	4.1	3.3	9.9
70歳代(n=84)	27.4	2.4	1.2	29.8	14.3	3.6	2.4	19.0
80歳以上(n=34)	20.6	2.9	2.9	17.6	14.7	5.9	0.0	35.3
昭和地区(n=148)	20.9	0.7	3.4	27.7	31.8	5.4	2.0	8.1
長浦地区(n=207)	21.3	1.9	6.3	30.0	26.1	1.4	4.8	8.2
根形地区(n=61)	21.3	3.3	3.3	24.6	27.9	4.9	3.3	11.5
平岡地区(n=53)	15.1	3.8	7.5	17.0	35.8	0.0	1.9	18.9
中川富岡地区(n=40)	20.0	2.5	0.0	35.0	17.5	5.0	2.5	17.5

※網掛けは最も高い項目です。

(2) 市民活動・協働の促進のために必要な情報について

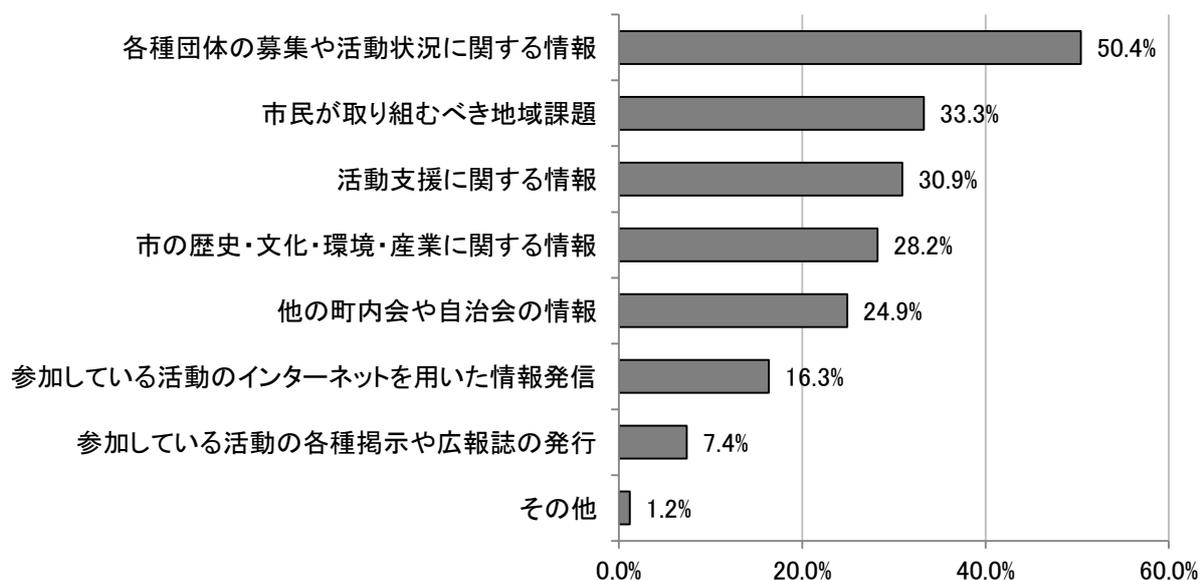
問 18 「市や各種団体の情報発信、交流の場として市民に開放できるスペース」において、市民活動・協働の促進のためにどのような情報発信が必要だと思いますか。

(複数回答)

市民活動・協働の促進のために必要な情報については、「各種団体の募集や活動状況に関する情報」が50.4%で最も高く、次いで「市民が取り組むべき地域課題」が33.3%、「活動支援に関する情報」が30.9%などとなっています。

n=514

問18 市民活動・協働の促進のために必要な情報について



性別にみると、男女ともに「各種団体の募集や活動状況に関する情報」の割合が最も高くなっています。

年代別にみると、70歳代では「市の歴史・文化・環境・産業に関する情報」が最も高くなっており、その他の年代では「各種団体の募集や活動状況に関する情報」の割合が最も高くなっています。

単位 (%)

	各種団体の募集 や活動状況に 関する情報	活動支援に 関する情報	他の町内会や 自治会の情報	市の歴史・文化・ 環境・産業に関 する情報	市民が取り組む べき地域課題
全体(n=514)	50.4	30.9	24.9	28.2	33.3
男性(n=237)	46.4	31.6	23.2	31.6	37.6
女性(n=273)	54.2	30.4	26.4	25.6	30.0
19歳以下(n=11)	72.7	45.5	18.2	9.1	18.2
20歳代(n=43)	55.8	27.9	11.6	18.6	25.6
30歳代(n=70)	54.3	32.9	25.7	17.1	37.1
40歳代(n=74)	55.4	29.7	25.7	27.0	37.8
50歳代(n=76)	56.6	30.3	27.6	28.9	32.9
60歳代(n=121)	52.1	33.9	28.9	33.1	35.5
70歳代(n=84)	33.3	33.3	22.6	36.9	33.3
80歳以上(n=34)	38.2	14.7	26.5	29.4	23.5

	参加している 活動のインター ネットを用いた 情報発信	参加している 活動の各種掲示 や広報誌の発行	その他	無回答
全体(n=514)	16.3	7.4	1.2	8.8
男性(n=237)	18.6	5.9	1.3	7.6
女性(n=273)	14.7	8.8	1.1	9.2
19歳以下(n=11)	9.1	0.0	0.0	0.0
20歳代(n=43)	18.6	11.6	0.0	7.0
30歳代(n=70)	27.1	8.6	1.4	5.7
40歳代(n=74)	25.7	8.1	1.4	6.8
50歳代(n=76)	17.1	3.9	2.6	2.6
60歳代(n=121)	14.0	9.1	0.0	8.3
70歳代(n=84)	4.8	6.0	2.4	15.5
80歳以上(n=34)	8.8	5.9	0.0	23.5

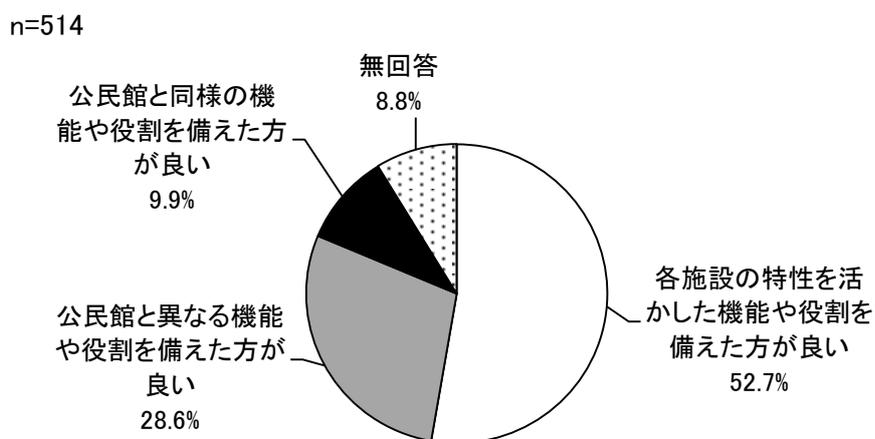
※網掛けは最も高い項目です。

(3) 公民館との役割分担について

問 19 市庁舎内に計画する「市や各種団体の情報発信、交流の場として市民に開放できるスペース」と公民館の機能・役割をどのようにしたら良いと思いますか。
(単一回答)

公民館との役割分担については、「各施設の特徴を活かした機能や役割を備えた方が良い」が52.7%と半数以上を占め、「公民館と異なる機能や役割を備えた方が良い」が28.6%、「公民館と同様の機能や役割を備えた方が良い」が9.9%と続いています。

問19 公民館との役割分担について



性別、年代別、地区別にみても、おおむね同様の傾向にあります。

単位 (%)

	公民館と異なる機能や役割を備えた方が良い	公民館と同様の機能や役割を備えた方が良い	各施設の特徴を活かした機能や役割を備えた方が良い	無回答
全体(n=514)	28.6	9.9	52.7	8.8
男性(n=237)	28.7	12.7	49.8	8.9
女性(n=273)	28.6	7.7	55.7	8.1
19歳以下(n=11)	45.5	27.3	27.3	0.0
20歳代(n=43)	14.0	14.0	60.5	11.6
30歳代(n=70)	34.3	11.4	50.0	4.3
40歳代(n=74)	27.0	8.1	59.5	5.4
50歳代(n=76)	30.3	6.6	59.2	3.9
60歳代(n=121)	26.4	9.1	59.5	5.0
70歳代(n=84)	35.7	9.5	38.1	16.7
80歳以上(n=34)	20.6	11.8	38.2	29.4
昭和地区(n=148)	33.1	6.1	50.7	10.1
長浦地区(n=207)	31.9	9.2	53.6	5.3
根形地区(n=61)	23.0	13.1	54.1	9.8
平岡地区(n=53)	17.0	13.2	56.6	13.2
中川富岡地区(n=40)	15.0	17.5	55.0	12.5

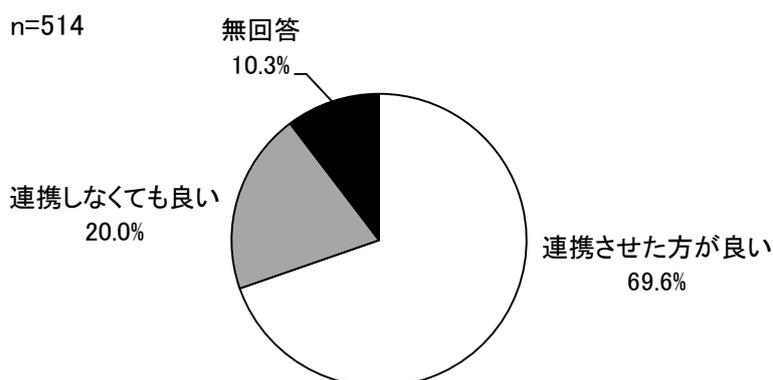
※網掛けは最も高い項目です。

(4) 公民館との連携について

問 20 市庁舎内に計画する「市や各種団体の情報発信、交流の場として市民に開放できるスペース」と各地区公民館の機能は施設間で連携した方が良いと思いますか。
(単一回答)

公民館との連携については、「連携させた方が良い」が 69.6%と7割弱を占め、「連携しなくても良い」の 20.0%を大幅に上回っています。

問20 公民館との連携について



性別、年代別、地区別にみても、すべてで「連携させた方が良い」が最も高くなっていますが、70歳代及び80歳以上、平岡地区では他に比べて割合が低くなっています。

単位 (%)

	連携しなくても良い	連携させた方が良い	無回答
全体 (n=514)	20.0	69.6	10.3
男性 (n=237)	20.7	69.2	10.1
女性 (n=273)	19.4	71.1	9.5
19歳以下 (n=11)	18.2	81.8	0.0
20歳代 (n=43)	20.9	67.4	11.6
30歳代 (n=70)	20.0	75.7	4.3
40歳代 (n=74)	16.2	77.0	6.8
50歳代 (n=76)	27.6	68.4	3.9
60歳代 (n=121)	19.8	74.4	5.8
70歳代 (n=84)	19.0	58.3	22.6
80歳以上 (n=34)	14.7	52.9	32.4
昭和地区 (n=148)	19.6	66.9	13.5
長浦地区 (n=207)	20.8	72.5	6.8
根形地区 (n=61)	16.4	73.8	9.8
平岡地区 (n=53)	24.5	58.5	17.0
中川富岡地区 (n=40)	15.0	77.5	7.5

※網掛けは最も高い項目です。

(5) 「市民に開放できるスペース」のデザインについて

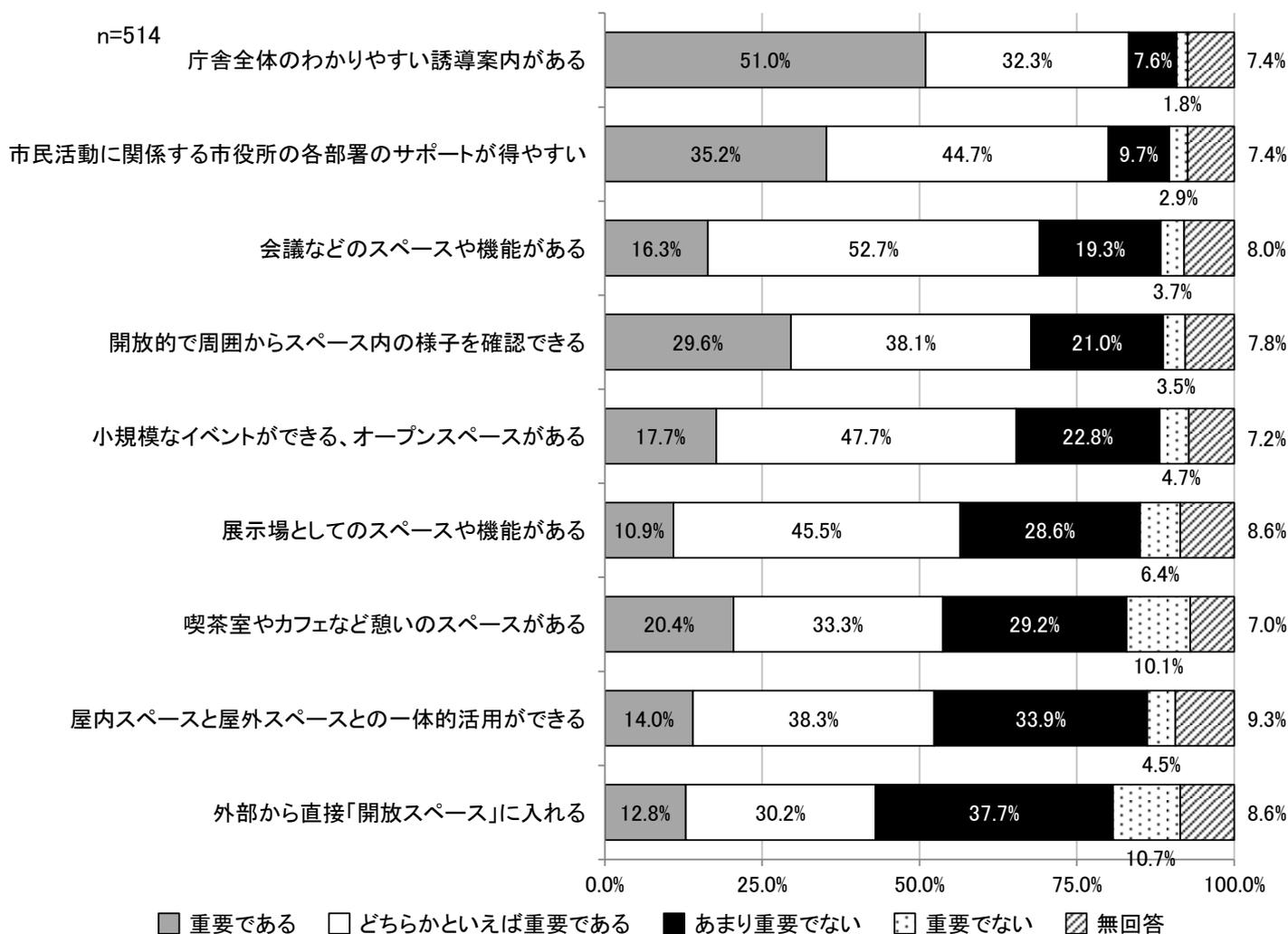
問 21 市庁舎内に計画する「市や各種団体の情報発信、交流の場として市民に開放できるスペース」について、どのようなデザインが重要だと思いますか。

(各項目ごとに単一回答)

「市民に開放できるスペース」のデザインについては、「重要である」及び「どちらかといえば重要である」を合わせた“重要”では、「庁舎全体のわかりやすい誘導案内がある」が83.3%で最も高く、次いで「市民活動に関係する市役所の各部署のサポートが得やすい」が79.9%、「会議などのスペースや機能がある」が69.0%などとなっています。

一方、「あまり重要でない」及び「重要でない」を合わせた“重要でない”では、「外部から直接『開放スペース』に入れる」が48.4%で最も高く、次いで「喫茶室やカフェなど憩いのスペースがある」が39.3%、「屋内スペースと屋外スペースとの一体的活用ができる」が38.4%などとなっていますが、“重要”と比べて大きな差はみられません。

問 21 「市民に開放できるスペース」のデザインについて



項目ごとにみると、以下のとおりです。

①開放的で周囲からスペース内の様子を確認できること

開放的で周囲からスペース内の様子を確認できることについては、性別、年代別、地区別のすべてで“重要”が高くなっています。

単位 (%)

	重要である	どちらかといえば重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答
全体(n=514)	29.6	38.1	21.0	3.5	7.8
男性(n=237)	26.6	39.2	23.2	3.4	7.6
女性(n=273)	32.6	37.4	19.4	3.7	7.0
19歳以下(n=11)	36.4	54.5	9.1	0.0	0.0
20歳代(n=43)	37.2	34.9	23.3	2.3	2.3
30歳代(n=70)	40.0	42.9	11.4	2.9	2.9
40歳代(n=74)	29.7	47.3	18.9	1.4	2.7
50歳代(n=76)	30.3	43.4	21.1	2.6	2.6
60歳代(n=121)	28.1	32.2	32.2	3.3	4.1
70歳代(n=84)	23.8	34.5	17.9	7.1	16.7
80歳以上(n=34)	11.8	26.5	14.7	5.9	41.2
昭和地区(n=148)	28.4	40.5	19.6	5.4	6.1
長浦地区(n=207)	33.8	35.7	21.7	2.4	6.3
根形地区(n=61)	31.1	36.1	16.4	4.9	11.5
平岡地区(n=53)	26.4	39.6	22.6	1.9	9.4
中川富岡地区(n=40)	12.5	45.0	27.5	2.5	12.5

※網掛けは“重要”及び“重要でない”で比較し最も高い項目です。

②屋内スペースと屋外スペースとの一体的活用ができること

屋内スペースと屋外スペースとの一体的活用ができることについても、性別、年代別、地区別のすべてで“重要”が高くなっています。

単位 (%)

	重要である	どちらかといえば重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答
全体(n=514)	14.0	38.3	33.9	4.5	9.3
男性(n=237)	16.5	35.4	33.3	5.5	9.3
女性(n=273)	12.1	41.0	34.8	3.7	8.4
19歳以下(n=11)	18.2	63.6	18.2	0.0	0.0
20歳代(n=43)	20.9	41.9	30.2	4.7	2.3
30歳代(n=70)	24.3	34.3	32.9	5.7	2.9
40歳代(n=74)	12.2	41.9	35.1	6.8	4.1
50歳代(n=76)	6.6	43.4	40.8	3.9	5.3
60歳代(n=121)	18.2	36.4	38.0	2.5	5.0
70歳代(n=84)	6.0	38.1	31.0	7.1	17.9
80歳以上(n=34)	8.8	23.5	17.6	0.0	50.0
昭和地区(n=148)	14.2	37.2	33.1	7.4	8.1
長浦地区(n=207)	13.5	36.7	39.1	3.9	6.8
根形地区(n=61)	18.0	42.6	19.7	3.3	16.4
平岡地区(n=53)	15.1	34.0	37.7	1.9	11.3
中川富岡地区(n=40)	7.5	50.0	27.5	2.5	12.5

※網掛けは“重要”及び“重要でない”で比較し最も高い項目です。

③外部から直接「開放スペース」に入れること

外部から直接「開放スペース」に入れることについては、性別、年代別、地区別のおおむねすべてで“重要でない”が高い傾向にあります。

単位 (%)

	重要である	どちらかといえば重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答
全体(n=514)	12.8	30.2	37.7	10.7	8.6
男性(n=237)	15.6	30.0	36.3	10.1	8.0
女性(n=273)	10.6	30.8	39.2	11.4	8.1
19歳以下(n=11)	36.4	63.6	0.0	0.0	0.0
20歳代(n=43)	14.0	34.9	39.5	9.3	2.3
30歳代(n=70)	12.9	32.9	37.1	15.7	1.4
40歳代(n=74)	13.5	28.4	48.6	5.4	4.1
50歳代(n=76)	10.5	26.3	46.1	13.2	3.9
60歳代(n=121)	16.5	30.6	39.7	9.1	4.1
70歳代(n=84)	6.0	33.3	27.4	15.5	17.9
80歳以上(n=34)	11.8	8.8	26.5	5.9	47.1
昭和地区(n=148)	12.2	25.7	39.2	14.9	8.1
長浦地区(n=207)	13.0	34.3	38.6	9.2	4.8
根形地区(n=61)	18.0	27.9	31.1	8.2	14.8
平岡地区(n=53)	9.4	34.0	34.0	9.4	13.2
中川富岡地区(n=40)	10.0	25.0	42.5	10.0	12.5

※網掛けは“重要”及び“重要でない”で比較し最も高い項目です。

④庁舎全体のわかりやすい誘導案内があること

庁舎全体のわかりやすい誘導案内があることについては、性別、年代別、地区別のすべてで“重要”が高くおおむねすべてで8割を超えています。

単位 (%)

	重要である	どちらかといえば重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答
全体(n=514)	51.0	32.3	7.6	1.8	7.4
男性(n=237)	49.4	33.3	7.6	1.7	8.0
女性(n=273)	53.1	31.5	7.7	1.8	5.9
19歳以下(n=11)	45.5	36.4	18.2	0.0	0.0
20歳代(n=43)	60.5	27.9	9.3	0.0	2.3
30歳代(n=70)	65.7	17.1	12.9	1.4	2.9
40歳代(n=74)	48.6	41.9	6.8	0.0	2.7
50歳代(n=76)	53.9	34.2	6.6	2.6	2.6
60歳代(n=121)	51.2	40.5	5.0	0.0	3.3
70歳代(n=84)	36.9	32.1	9.5	6.0	15.5
80歳以上(n=34)	44.1	14.7	0.0	2.9	38.2
昭和地区(n=148)	43.9	37.8	8.8	3.4	6.1
長浦地区(n=207)	55.1	30.4	8.2	1.0	5.3
根形地区(n=61)	59.0	19.7	9.8	1.6	9.8
平岡地区(n=53)	47.2	39.6	1.9	0.0	11.3
中川富岡地区(n=40)	50.0	30.0	5.0	2.5	12.5

※網掛けは“重要”及び“重要でない”で比較し最も高い項目です。

⑤喫茶室やカフェなど憩いのスペースがあること

喫茶室やカフェなど憩いのスペースがあることについては、おおむね“重要”が高い傾向にあります。

単位 (%)

	重要である	どちらかといえば重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答
全体(n=514)	20.4	33.3	29.2	10.1	単位 (%)
男性(n=237)	24.5	30.8	27.4	9.3	8.0
女性(n=273)	17.2	35.9	30.8	11.0	5.1
19歳以下(n=11)	36.4	27.3	27.3	9.1	0.0
20歳代(n=43)	30.2	37.2	27.9	4.7	0.0
30歳代(n=70)	31.4	27.1	28.6	10.0	2.9
40歳代(n=74)	21.6	27.0	39.2	9.5	2.7
50歳代(n=76)	19.7	40.8	30.3	6.6	2.6
60歳代(n=121)	18.2	45.5	26.4	7.4	2.5
70歳代(n=84)	13.1	26.2	26.2	20.2	14.3
80歳以上(n=34)	5.9	14.7	26.5	11.8	41.2
昭和地区(n=148)	16.9	30.4	31.1	15.5	6.1
長浦地区(n=207)	24.2	32.4	32.4	7.2	3.9
根形地区(n=61)	23.0	39.3	21.3	4.9	11.5
平岡地区(n=53)	17.0	34.0	24.5	13.2	11.3
中川富岡地区(n=40)	15.0	40.0	22.5	10.0	12.5

※網掛けは“重要”及び“重要でない”で比較し最も高い項目です。

⑥会議などのスペースや機能があること

会議などのスペースや機能があることについては、性別、年代別、地区別のすべてで“重要”が高く、おおむね半数を超えています。

単位 (%)

	重要である	どちらかといえば重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答
全体(n=514)	16.3	52.7	19.3	3.7	8.0
男性(n=237)	18.1	54.4	15.6	3.8	8.0
女性(n=273)	15.0	52.0	22.3	3.7	7.0
19歳以下(n=11)	27.3	45.5	27.3	0.0	0.0
20歳代(n=43)	11.6	58.1	27.9	2.3	0.0
30歳代(n=70)	15.7	52.9	24.3	2.9	4.3
40歳代(n=74)	12.2	60.8	21.6	2.7	2.7
50歳代(n=76)	19.7	53.9	18.4	5.3	2.6
60歳代(n=121)	22.3	57.0	14.0	3.3	3.3
70歳代(n=84)	10.7	46.4	20.2	7.1	15.5
80歳以上(n=34)	14.7	29.4	8.8	0.0	47.1
昭和地区(n=148)	15.5	52.0	18.9	6.1	7.4
長浦地区(n=207)	17.4	51.7	22.7	3.4	4.8
根形地区(n=61)	16.4	57.4	13.1	1.6	11.5
平岡地区(n=53)	18.9	54.7	13.2	1.9	11.3
中川富岡地区(n=40)	10.0	55.0	17.5	2.5	15.0

※網掛けは“重要”及び“重要でない”で比較し最も高い項目です。

⑦展示場としてのスペースや機能があること

展示場としてのスペースや機能があることについては、性別、年代別、地区別のすべてで“重要”が高くなっています。

単位 (%)

	重要である	どちらかといえば重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答
全体(n=514)	10.9	45.5	28.6	6.4	8.6
男性(n=237)	13.1	46.8	24.9	5.9	9.3
女性(n=273)	9.2	45.1	31.9	7.0	7.0
19歳以下(n=11)	27.3	27.3	27.3	18.2	0.0
20歳代(n=43)	14.0	44.2	37.2	4.7	0.0
30歳代(n=70)	15.7	40.0	35.7	4.3	4.3
40歳代(n=74)	5.4	59.5	23.0	9.5	2.7
50歳代(n=76)	11.8	42.1	34.2	6.6	5.3
60歳代(n=121)	14.9	49.6	28.1	3.3	4.1
70歳代(n=84)	3.6	44.0	26.2	9.5	16.7
80歳以上(n=34)	5.9	32.4	11.8	5.9	44.1
昭和地区(n=148)	12.8	43.9	27.0	8.8	7.4
長浦地区(n=207)	10.1	48.8	29.0	6.3	5.8
根形地区(n=61)	11.5	36.1	36.1	4.9	11.5
平岡地区(n=53)	11.3	41.5	28.3	5.7	13.2
中川富岡地区(n=40)	5.0	55.0	22.5	2.5	15.0

※網掛けは“重要”及び“重要でない”で比較し最も高い項目です。

⑧小規模なイベントができる、オープンスペースがあること

小規模なイベントができる、オープンスペースがあることについては、性別、年代別、地区別のすべてで“重要”が高く、特に19歳以下から30歳代までの低い年代及び長浦地区では、7割を超えています。

単位 (%)

	重要である	どちらかといえば重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答
全体(n=514)	17.7	47.7	22.8	4.7	7.2
男性(n=237)	18.6	47.3	21.5	4.6	8.0
女性(n=273)	17.2	48.7	23.8	4.8	5.5
19歳以下(n=11)	27.3	63.6	9.1	0.0	0.0
20歳代(n=43)	23.3	48.8	25.6	2.3	0.0
30歳代(n=70)	25.7	52.9	14.3	4.3	2.9
40歳代(n=74)	12.2	48.6	28.4	8.1	2.7
50歳代(n=76)	23.7	46.1	25.0	2.6	2.6
60歳代(n=121)	19.8	47.9	25.6	4.1	2.5
70歳代(n=84)	9.5	46.4	22.6	6.0	15.5
80歳以上(n=34)	2.9	35.3	14.7	5.9	41.2
昭和地区(n=148)	16.9	43.9	27.0	6.1	6.1
長浦地区(n=207)	19.3	53.1	18.8	4.3	4.3
根形地区(n=61)	19.7	44.3	21.3	3.3	11.5
平岡地区(n=53)	17.0	37.7	28.3	5.7	11.3
中川富岡地区(n=40)	10.0	55.0	20.0	2.5	12.5

※網掛けは“重要”及び“重要でない”で比較し最も高い項目です。

⑨市民活動に関係する市役所の各部署のサポートが得やすいこと

市民活動に関係する市役所の各部署のサポートが得やすいことについては、性別、年代別、地区別のすべてで“重要”が高く、おおむねすべてで7割を超えています。

単位 (%)

	重要である	どちらかといえば重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答
全体 (n=514)	35.2	44.7	9.7	2.9	7.4
男性 (n=237)	35.9	43.9	9.7	3.0	7.6
女性 (n=273)	35.2	46.2	9.5	2.9	6.2
19歳以下 (n=11)	36.4	63.6	0.0	0.0	0.0
20歳代 (n=43)	37.2	48.8	14.0	0.0	0.0
30歳代 (n=70)	48.6	32.9	8.6	7.1	2.9
40歳代 (n=74)	36.5	52.7	4.1	4.1	2.7
50歳代 (n=76)	30.3	50.0	14.5	2.6	2.6
60歳代 (n=121)	37.2	47.1	11.6	0.8	3.3
70歳代 (n=84)	27.4	42.9	11.9	3.6	14.3
80歳以上 (n=34)	26.5	26.5	0.0	0.0	47.1
昭和地区 (n=148)	30.4	48.6	10.1	4.7	6.1
長浦地区 (n=207)	37.7	44.9	11.1	1.4	4.8
根形地区 (n=61)	37.7	45.9	3.3	1.6	11.5
平岡地区 (n=53)	37.7	34.0	11.3	5.7	11.3
中川富岡地区 (n=40)	35.0	45.0	5.0	2.5	12.5

※網掛けは“重要”及び“重要でない”で比較し最も高い項目です。

6. 自由意見

問 22 その他庁舎に求める機能や設備、使い方などについて、ご意見をお聞かせください。

アンケートに回答された 514 人中、129 人から 183 の意見が寄せられました。内訳は以下のとおりです。

項目	票数
新庁舎について【外観・構造・設備】	49
新庁舎について【内装】	38
新庁舎について【市民のためのスペース】	10
サービスについて【交通】	4
サービスについて【イベント・行政サービス】	7
サービスについて【他施設】	11
立地について	15
アンケートについて	6
庁舎利用について	5
行政について	38
合計	183

《新庁舎について【外観・構造・設備】（抜粋）》

- 機能にあたっては、「デザインや美」などより、質を重んじてください。
- 災害対策重視。ユニバーサルデザインに期待。
- 新しくするなら耐震性に強いものが一番です。
- シンプルな造りが良いと思います。
- 屋上に展望設備があるといいと思う。
- 津波がきても沈まない。明るい。
- コンパクトなもので構わない。
- 駐車場が減るのは避けてほしい。
- どのような方が来客されても安心して利用できること。
- 太陽光を使った非常電源、停電しても独立して電気を供給できるもの。非常用に使える雨水タンク、通常のトイレ用に使って節水。
- 幅広く市民が利用できる施設だと、私たちの税金を投じて、悪くない気がする。
- 必要以上のデザイン性は求めずに、機能性重視での整備をお願いします。
- 工事は 2020 年以降が望ましいと思います。
- 喫茶室や市民に開放できるスペースというのは必要でしょうか。

- 防災の拠点となるので、外へも「災害対応トイレ」や「かまどベンチ」、「ポンプ」、「水槽」など作っても良いと思います。
- 駐車場を保護材を用いて天然芝にするなど、地球温暖化防止策をしてほしい。
- 今後の人口減少社会を考え、コンパクトで利用しやすい施設をお願いします。
- 市庁舎すべてではなく、災害対策拠点部分のみ高い耐震性として費用を抑えてほしい。
- 耐震設計は職員が避難できる最小限のスペースにとどめ、コスト削減をはかること。
- バリアフリー化を希望します。すべての市民がいつでも何度でも足を運べるように。
- 建物のデザインに凝らず、コスト最小限に。
- 親しみやすい外観とわかりやすい内装、配色やデザインに奇抜さを求めるのではなく、耐久性や人にやさしいスペースへの配慮をぜひ考えて設計してほしい。
- 利用しやすい明るい庁舎をお願いします。

《新庁舎について【内装】（抜粋）》

- 全体的に屋内が暗い印象があるので、日の当たりの良い、明るい印象のもたれやすい建物が良いと思う。
- 子育て支援課が現在2階にあるので、1階にあると助かります。
- 設備は新しいとは思いませんが、フロアが見透かせ、明るい雰囲気があると思うので、このまま維持してほしいと思います。
- 生活に関する情報を発信するスペースがほしい。
- 外部からインターネットが気軽にできるスペースを設けるべき。
- どこに行けばどんな手続きができるのか、誘導の充実。
- いろいろな銀行などのATM。千葉銀行以外のATMもほしいです。
- トイレなどは乳幼児、障がい者用のトイレを設置してほしい。
- 駅前の商業スペースに住民票などを取得できる窓口設置を希望。
- 実用的で利用する者にとって内側重視であってほしいと思います。
- 広くなっても効率が良く、用件が済ませられるようになってほしい。
- 市民が昼食やお茶を気軽に楽しめるようなレストランがあったら良いと思う。
- エントランス部分を明るくし、誰でも利用したくなるようなスペースを多く作り、市民同士のコミュニケーションの場として利用できるようにしてほしい。
- 袖ヶ浦市の物産や地域特産の紹介を兼ねて、販売や直売コーナーを設けて産業振興に努力してほしい。発想をかえて、役所にもにぎわいや活気が必要である。
- カフェなどの憩いの場所があり、その近くに展示スペースを設けるなども良い。
- 高齢者にもわかりやすい庁舎内としてほしい。
- 庁舎内にスポーツ開放スペースがあるといいな。
- 喫茶室（レストラン）は不要。
- 少しの間幼児を預かる部屋があれば良いと思います。

《新庁舎について【市民のためのスペース】（抜粋）》

- 市民スペースは市庁舎内よりも商業施設に併設の方が来訪者も増え、駐車場の確保もできて良い。
- 多目的に使用できるスペースを希望します。
- 年々多様化する行政需要に柔軟に対応するためには、将来を見据えた自由度の高い広いスペースが必要である。
- 市民開放スペースについて。各公民館を充実利用し、市役所の大きさ、設備は最小限とし、コスト削減に努めること。
- 小規模の体育館がほしいところですが、無理であれば「市民に開放できるスペース」に軽いスポーツができるスペースを作ってほしいと思います。
- 「交流の場として開放できるスペース」は特に考慮する必要なし。
- あまり求めるものはありませんが、若い方々の友達作りや、子育ての悩みなど、集まりやすいスペースを作ってほしいものです。
- 人との話し合いの中にいろんなメリットがそれぞれあると思う。開放スペースをそんなふうにご利用したい。

《サービスについて【交通】》

- バスの運行についても、スーパーや病院と連携して行えば良いと思っています。
- 路線バスなどの充実性がない。自分たちが高齢になったときに不便さを感じる。駅前の商業スペースに住民票などを取得できる窓口設置を希望。19:00まで対応してくれると通勤で間に合う人も増える。
- 交通の利便を考えてほしい。車のない一人暮らしの場合（中富地区）、木更津に出て乗り換えるのが負担になってきた。
- 月に1回くらいの年齢別交流会に出たい人のために送迎バスがほしい。「広報そでがうら」に場所と時間を載せてほしい。

《サービスについて【イベント・行政サービス】》

- 健康診断の補助やゴミ処理といったサービスを継続していけるように、お金を使ってほしい。
- 新しく引っ越ししてきた人が知りたい情報が何か、もっと分析が必要だと思う。地図に病院や、何科があるのか表示し、わかりやすくすると良いと思う。
- 子育てイベントなどがあるとさらに健診などで利用しやすくなる。情報も得やすいし、用事も済ませやすい。保育所、子ども館に任せず、そこは委託でも良いので、庁舎でのイベントがあると足を運びやすいと思う。
- 土日の駐車場の有効活用。

- 袖ヶ浦広報のアナウンス、ときどき内容が聞きづらいです。
- 私自身高齢者であるため、庁舎に求める機能よりも、庁舎へ行く手段の確保、手続きの簡素化が必要と思っています。

《サービスについて【他施設】（抜粋）》

- 北口の開発は進むのでしょうか。生鮮食品、日用品を揃えられる気の利いたスーパーがほしいです。
- 庁舎に意見はないですが、庁舎の再整備より警察署の方が必要だと思います。
- 各行政センターをもっと活かしたら良いと思う。もっと各行政センターでできることを増やしてほしい。
- 火葬場はいままでどおり、市原市のものを使わせてもらうのが良いと思います。木更津市のものを使わせてもらうのは反対です。とても遠いです。
- 袖ヶ浦市にはなぜ火葬場がないのですか。市民として必ず使用する場所なのに。
- 公民館機能の充実。
- 昭和地区には公民館がなく、場所が確保できなかつたり狭かつたりで、不便を感じています。
- 長浦図書館1Fの「生活支援センター」は活動しているのでしょうか。
- 昭和地区は、公民館内のスポーツ開放スペースがない。
- のぞみ野の中に内科医院を建ててください。

《立地について（抜粋）》

- 埋め立て地に近く、津波や地盤の不安がありますが、震災が起きたときに拠点となるよう、計画をしっかりと進めていってほしいと思います。
- まず、災害対策拠点施設は賛成ですが、坂戸市場は海拔が低いので、津波が心配です。
- 津波がきた場合、今の場所で役所の機能を果たせるのか疑問。
- 庁舎を今の場所で建替えることに反対。もっと高台の方が良いのでは。
- 根形地区、広域農道沿いにあるといいと思う。
- 海に近いのは少し心配しています。
- 現庁舎の所在地は市内の低海拔地にあり、大地震や災害発生時、安全な場所とはいえない。
- 市役所の位置は良いと思う。「坂戸市場1番地1」とつけた由来もあると思う。駅に近い地域の中心シンボル。

《アンケートについて（抜粋）》

- 難しい言い回しがたくさんあったので、難しいアンケートでした。
- 「市民協働のまちづくり」や「市や各種団体の情報発信、交流の場として市民に開放できるスペース」といった話がおおまかすぎていまいちピンときません。このアンケートをする前に、その2つの説明が聞きたかったです。
- アンケートの意図がわからない。庁舎整備よりももっとやる場所（事案）があると思う。
- もう決まっていることならなぜ今ごろアンケート？
- このアンケートは市の考えや新庁舎のスペースなどを自分たちの考えになるよう誘導するようなもので、自分たちの考えを多数にするものである。

《庁舎利用について》

- 小学生のときの校外学習で庁舎に行ったきりなので、状況がまったくわからないです。支所や公民館で間に合っています。
- あまり出向くことがありませんので、今のところ不便に思うことはありません。
- 50年以上袖ヶ浦市民ですが、本庁舎に行くことがほぼ皆無なので、いろいろ質問されても実感が湧きません。
- 袖ヶ浦市庁舎は遠く、交通の便も悪くて近くの行政センターで済ませています。在住30年程になりますが1～2回だけ行ったと思います。
- 公民館活動によく参加します。新しい市役所は車がないので、たぶんイベントなど参加ができないと思います。

《行政について（抜粋）》

- 各窓口を利用する際に、“目の不自由な人”や“耳の不自由な人”に対しての対応にもっと配慮すべきだと感じます。
- 袖ヶ浦市は他の市と違って、市の機能が集約されていないと感じます。
- 目的は理解したが、必要以上にお金をかけるようなものにならないように願いたい。今以上の高層ビルにならないとうれしい。
- 緊急時は周辺施設も活用してほしい。設計はオープンにコンペをやってほしい。
- 行政センターの窓口は1分たりとも遅れると嫌な顔をされる。または窓口を閉めはじめる。
- 市庁舎と公民館は異なる機能・役割を持つべきだと思う。袖ヶ浦市には十分な数の公民館があり、これ以上のものは必要ないと思う。
- 整備以前の問題として、職員のサービス向上が必要です。窓口がわかりにくかったり、窓口職員の受け答えが悪かったりと、不愉快に感じる人が多いです。

- 各地区に公民館、ガウランドなどそれぞれの交流の場がしっかりあるのに、なぜ改めて交流の場を作り、市民の税金を使う必要があるのですか。
- 既存新庁舎の耐震補強及び大規模改修についても、新設か、改修するか、費用対効果を十分見極めた上で実施してほしいと考える。
- 老朽化が進んでいる庁舎の計画を優先させないで、袖ヶ浦駅北口の開発を先行したつけである。
- 職員の皆様は接遇にもっと気を配ってください。
- 現状の問題①建物の定期検査がされているか不明。②建物が震度いくつで設計されているか不明。③トイレが故障しても修理が遅い。
- なぜ職員の食堂がないのでしょうか。食事時に行くと嫌な臭いが気になります。自分の席で食事をしていることが不思議です。
- 今の時代、なるべく安くおさえ将来に備えることが必要。袖ヶ浦市は財政難であることを自覚してほしい。

Ⅲ 資料

袖ヶ浦市庁舎整備に関する市民アンケート

日ごろから、市政に対しましてご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

本市の庁舎は、新旧いずれの庁舎も竣工後35年以上が経過しており老朽化が進んでいます。また、災害対策拠点施設として重要な役割を担う庁舎は、高い耐震性を確保する必要がありますが、現庁舎の耐震性能は現行基準を満たしていないため、大地震時に災害対策拠点施設としての機能を担うことが危ぶまれる状況にあります。このようなことから、平成24年度に策定した「袖ヶ浦市庁舎整備基本計画」に基づき、現在、庁舎の再整備に向け準備を進めているところでございます。

基本計画では「防災拠点としての庁舎」の他「市民活動の場として開かれた庁舎」を庁舎整備に係る基本方針の一つに掲げており、今後、市民協働の施設となる庁舎を目指し、市や各種団体の情報発信、交流の場として市民に開放できるスペースの設置を計画しております。

今回のアンケート調査は「市民活動の場として開かれた庁舎」について、市民の皆さんにご意見を伺い、本年度から着手する基本設計での計画検討の資料とさせていただきます。

お手数をおかけしますが、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成28年7月

袖ヶ浦市長 出口 清

*** アンケート記入時の注意事項 ***

- 調査票をご記入いただきましたら、同封の返信用封筒に入れて、

7月21日(木) までに切手を貼らずにご投函ください。

- ご記入は、黒のボールペンもしくは濃い鉛筆でお願いします。
- お答えは、質問ごとにあてはまる番号を○で囲んでください。
- 調査票や返信用封筒には、お名前・ご住所を記入する必要はありません。
- お伺いした内容は統計的に取扱いますので、個人が特定されることはありません。
- このアンケートは、市内にお住まいの満18歳以上の方から1,000人を無作為に抽出し送付しています。

《お問い合わせ先》

袖ヶ浦市 総務部 管財契約課
〒299-0292 袖ヶ浦市坂戸市場1-1
Tel 0438-62-2226 (直通)
E-mail sode06@city.sodegaura.chiba.jp

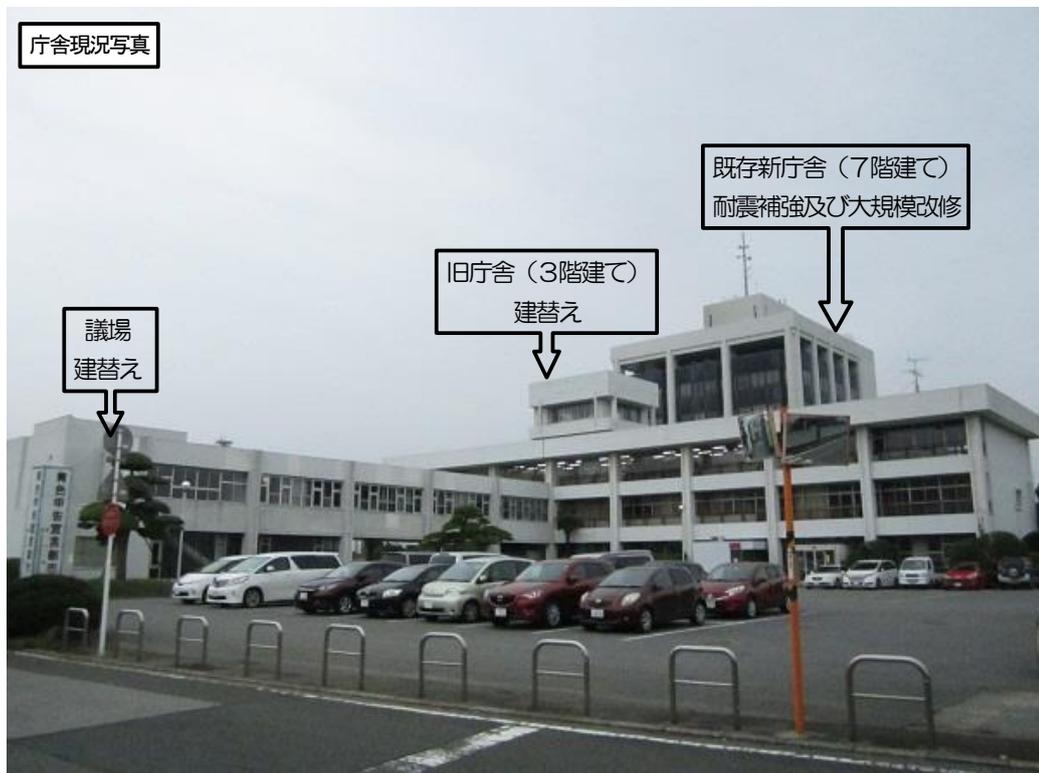
ご協力を
お願いします。



袖ヶ浦市マスコットキャラクター「ガウラ」

袖ヶ浦市庁舎整備基本計画の概要

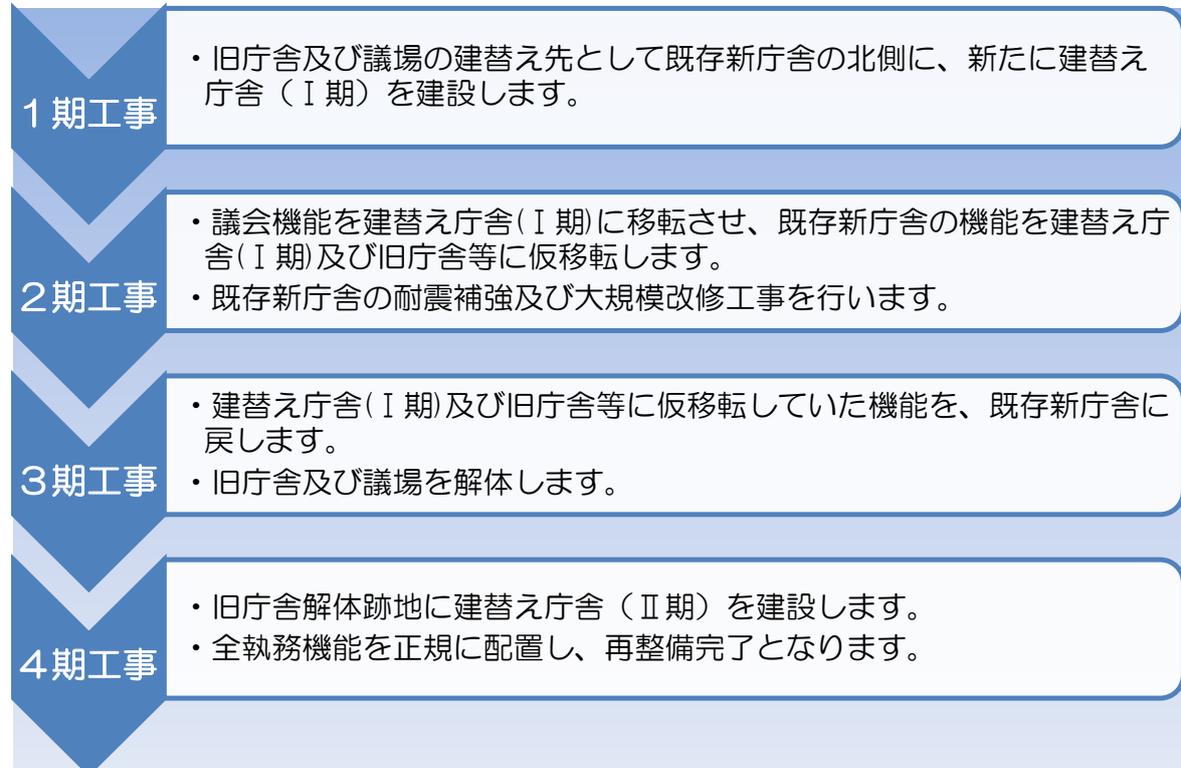
現在の庁舎配置



再整備後の庁舎配置案



庁舎の再整備手順



庁舎整備の経緯

本市の庁舎は、昭和45年に3階建庁舎（旧庁舎）と議場を、昭和55年に7階建庁舎（既存新庁舎）を建設しました。これらは昭和56年の建築基準法改正以前に建設されたものであるため、現行の耐震基準を満たしていません。また、旧庁舎は築45年、既存新庁舎は築35年以上が経過しており、設備等の老朽化も進んでいます。

このことから、災害対策拠点施設としての機能も有する庁舎の機能充実を図り、市民の安全・安心を確保するため、平成24年度に「袖ヶ浦市庁舎整備基本計画」を策定し、庁舎の再整備を計画的に進めることとしました。

基本計画の概要

基本計画では、旧庁舎は耐震性能やバリアフリー化など、改修工事では問題点を根本的に解決することが困難であるため建替えることとし、既存新庁舎は耐震補強と大規模改修により長寿命化を図ることとしています。

実施時期については、これまで災害時に避難所となる学校施設等の耐震化を最優先に進めてきたことから、庁舎の再整備は先送りとなっていましたが、昨年度で教育施設等の耐震化が概ね完了したことから、第3期実施計画事業として、本年度から庁舎整備の基本設計に着手し、計画的に庁舎の再整備事業を進めてまいります。

庁舎整備検討市民委員会

基本設計において「市民が利用しやすい庁舎」についての計画・検討を市民の皆さんと共に行うため、本年5月に「袖ヶ浦市庁舎整備検討市民委員会」を設置しました。

この市民委員会は、学識経験者2名、市内各種団体や自治連絡協議会から推薦された方14名、公募による市民の方3名の全19名で構成しています。

市民委員会では、庁舎整備に係る「バリアフリーに関すること」「利用しやすい窓口や待合スペースに関すること」「案内表示、トイレなどの設備に関すること」「市や各種団体の情報発信、交流の場として市民に開放できるスペースに関すること」など、市民が利用しやすい庁舎について検討・協議していただきます。

庁舎整備基金

庁舎整備事業費の平準化を図るため「庁舎整備基金」を創設し、本年度から整備工事着手まで基金を積立てる計画としています。

今回実施する市民アンケート調査は、庁舎の再整備にあたり市民の皆さんのご意見を伺い、特に「市や各種団体の情報発信、交流の場として市民に開放できるスペース」の計画検討の資料として活用させていただきます。

調査票

(この用紙に回答をご記入のうえ、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。)

1. あなたご自身のことについて

問1 あなたの性別をおたずねします。(〇は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 あなたの年齢をおたずねします。(〇は1つ)

- | | |
|----------|----------|
| 1. 19歳以下 | 5. 50歳代 |
| 2. 20歳代 | 6. 60歳代 |
| 3. 30歳代 | 7. 70歳代 |
| 4. 40歳代 | 8. 80歳以上 |

問3 あなたのご職業をおたずねします。(〇は1つ)

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. 自営業主 | 6. 学生 |
| 2. 家族従事者 | 7. 専業主婦・主夫 |
| 3. 会社・団体役員 | 8. 無職 |
| 4. 給与所得者 | 9. その他() |
| 5. アルバイト・パートタイム | |

問4 あなたのお住まいの地区をおたずねします。(〇は1つ)

- | | |
|---------|-----------|
| 1. 昭和地区 | 4. 平岡地区 |
| 2. 長浦地区 | 5. 中川富岡地区 |
| 3. 根形地区 | |

問5 あなたの家族人数をおたずねします。あなたを含めてお答えください。(〇は1つ)

- | | |
|-------|---------|
| 1. 1人 | 4. 4人 |
| 2. 2人 | 5. 5人以上 |
| 3. 3人 | |

問6 あなたは、袖ヶ浦市に住んでから何年になりますか。(〇は1つ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 3年未満 | 4. 10年以上20年未満 |
| 2. 3年以上5年未満 | 5. 20年以上 |
| 3. 5年以上10年未満 | |

2. 市役所本庁舎の利用について

問7 1年間に何回、本庁舎へお越しになりますか。(〇は1つ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 0回 | 3. 7回から12回 |
| 2. 1回から6回 | 4. 13回以上 |

問8 本庁舎へは、主にどのような手段でお越しになりますか。 (○は1つ)

- | | |
|----------|------------|
| 1. 自家用車 | 5. バス |
| 2. タクシー | 6. 電車 |
| 3. オートバイ | 7. 徒歩 |
| 4. 自転車 | 8. その他 () |

問9 本庁舎へは、主にどのような用件でお越しになりますか。 (○はいくつでも)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 戸籍や住民票、印鑑登録などの各種証明取得に関する事 |
| 2. 国民健康保険、国民年金、後期高齢者医療制度に関する事 |
| 3. 税金に関する事 |
| 4. 福祉（高齢者の介護、幼児の保育、子育てなど）に関する事 |
| 5. 教育（学校、幼稚園、教育相談など）に関する事 |
| 6. 上水道に関する事 |
| 7. 環境（公害、環境美化）に関する事 |
| 8. 農業、商工、観光などに関する事 |
| 9. 都市建設（建築確認、開発、道路、下水道、公園など）に関する事 |
| 10. 自治会活動や地域の課題に関する事 |
| 11. 会議、説明会、打合せのため |
| 12. 市議会の傍聴や市議会への要望など |
| 13. 行ったことがない |
| 14. その他 () |

問10 本庁舎を訪れたとき、用件を済ませるために、どれくらいの時間がかかりましたか。
平均的な滞在時間をお答えください。 (○は1つ)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 10分未満 | 4. 1時間以上2時間未満 |
| 2. 10分以上30分未満 | 5. 2時間以上 |
| 3. 30分以上1時間未満 | |

問11 本庁舎にお越しいただいたときに困ったことはなんですか。 (○はいくつでも)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 高齢者や障がい者、乳幼児への配慮が不十分（バリアフリー不足） |
| 2. 行きたい窓口がどこにあるのか分かりにくい |
| 3. プライバシーへの配慮が足りない |
| 4. 待合スペースや通路が狭い |
| 5. 市民の憩える場所がない |
| 6. レストランや喫茶室がなく、休憩できない |
| 7. トイレの場所が分かりにくい |
| 8. 手続きの待ち時間が長い |
| 9. エレベーターがせまい、少ない |
| 10. 建物が古く危険を感じる |
| 11. 建物内が暗い |
| 12. 駐車場が空いていなかった |
| 13. 困ったことや不便は特に感じない |
| 14. その他 () |

3. 庁舎の再整備について

問 12 本庁舎に関するそれぞれの問について、あなたの考えに近いものをお答えください。
(○はそれぞれ1つ)

		そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そうは思わない
記入例		①	2	3	4	5
1	災害対策拠点施設となる庁舎は、高い耐震性と災害対策本部となる十分なスペース、設備が必要である。	1	2	3	4	5
2	誰もが安心して利用できるよう配慮されている必要がある。(ユニバーサルデザイン)	1	2	3	4	5
3	わかりやすい総合案内の充実が必要である。(総合受付、案内人など)	1	2	3	4	5
4	プライバシーに配慮した窓口が必要である。	1	2	3	4	5
5	市民団体の情報発信や作品展など市民が利用できるスペースが必要である。	1	2	3	4	5
6	市民が自由に利用できる会議室が必要である。	1	2	3	4	5
7	自動販売機コーナー、喫茶室、展望台などの憩いのスペースが必要である。	1	2	3	4	5
8	市のシンボルとなるような建物が良い。	1	2	3	4	5
9	環境にやさしい建物になるよう整備をする必要がある。	1	2	3	4	5
10	議会の状況を分かりやすく伝える議会設備の整備が必要である。	1	2	3	4	5
11	子育て支援スペース(キッズスペース、授乳室など)が必要である。	1	2	3	4	5
12	将来の変化に柔軟に対応できる、自由度の高いスペースが必要である。	1	2	3	4	5

問 13 上記の12項目のうち、最も重要だと思われるものはなんですか。第1位から第3位まででお答えください。
(枠の中に番号を記入)

第1位	第2位	第3位

4. 市民活動・協働について

問 14 あなたは、日ごろ市民活動や協働に関する活動を行っていますか。以下の各活動の活動頻度についてお答えください。(○はそれぞれ1つ)

		比較的熱心に行っている	少しだけ行っている	ほとんど行っていない	まったく行っていない
記入例		①	2	3	4
1	自治会など(自治会や町内会)に関する活動	1	2	3	4
2	NPO・市民団体に関する活動	1	2	3	4
3	ボランティア団体や福祉団体でのボランティア活動	1	2	3	4
4	公民館や社会教育分野に関する活動	1	2	3	4
5	PTAなど子どもの育成に関する活動	1	2	3	4
6	趣味・文化・芸術分野のサークル活動	1	2	3	4
7	その他 ()	1	2	3	4

問 15 袖ヶ浦市は市民協働のまちづくりを推進しています。まちづくりのあり方についてのあなたのお考えに最も近いものをお答えください。(○は1つ)

1. まちづくりは、全て市が責任を持って実施すべきである
2. まちづくりは、市民もできる範囲で市民活動・ボランティア活動・自治会活動などを通じて協力して取り組むべきである
3. まちづくりは、出来るだけ専門知識や技術を有する民間企業に業務委託・管理委託をして、効率よく市政を運営すべきである
4. その他 ()

問 16 あなたは、どのような市民活動や協働に関する活動に関心がありますか。(○はいくつでも)

1. NPOなどの市民団体の活動	5. 趣味・文化・芸術のサークルの活動
2. 自治会・町内会の活動	6. 活動に興味や関心はあるが余裕がない
3. 市民会館・各地区の公民館で行われる活動や各種の市民講座	7. 活動に関心や興味はない
4. ボランティア団体の活動	8. その他 ()

5. 「市や各種(市民)団体の情報発信、交流の場として市民に開放できるスペース」について

本市庁舎の再整備において、新たに「市や各種団体の情報発信、交流の場として市民に開放できるスペース」を整備する計画としています。

このスペースの活用方法について伺います。

問 17 協働によるまちづくりを進めるためには、市や各種団体及び市民の交流や連携が欠かせません。市民活動・協働の促進のために市庁舎内に計画する「市や各種団体の情報発信、交流の場として市民に開放できるスペース」を活用して、どのような交流や連携が進むことを望みますか。 (○は1つ)

1. 市の関係する部署と各種団体
2. 各種団体間
3. 企業と各種団体
4. 市民と各種団体
5. 袖ヶ浦市の内外を問わず多種多様な団体・施設
6. 交流や連携は必要ない
7. その他 ()

問 18 「市や各種団体の情報発信、交流の場として市民に開放できるスペース」において、市民活動・協働の促進のためにどのような情報発信が必要だと思いますか。

(○はいくつでも)

1. 各種団体の募集や活動状況に関する情報
2. 活動支援に関する情報
3. 他の町内会や自治会の情報
4. 市の歴史・文化・環境・産業に関する情報
5. 市民が取り組むべき地域課題
6. 自分が参加する活動についてのインターネットを用いた情報発信
7. 自分が参加する活動についての各種掲示や広報誌の発行
8. その他 ()

問 19 市庁舎内に計画する「市や各種団体の情報発信、交流の場として市民に開放できるスペース」と公民館の機能・役割をどのようにしたら良いと思いますか。（〇は1つ）

- | |
|-----------------------------|
| 1. 公民館と異なる機能や役割を備えた方が良い |
| 2. 公民館と同様の機能や役割を備えた方が良い |
| 3. 各施設の特性を活かした機能や役割を備えた方が良い |

問 20 市庁舎内に計画する「市や各種団体の情報発信、交流の場として市民に開放できるスペース」と各地区公民館の機能は施設間で連携した方が良いと思いますか。

（〇は1つ）

- | |
|------------------------|
| 1. 施設間は個々で完結し連携しなくても良い |
| 2. 施設間は個々の機能を連携させた方が良い |

問 21 市庁舎内に計画する「市や各種団体の情報発信、交流の場として市民に開放できるスペース」について、どのようなデザインが重要だと思いますか。

（〇はそれぞれ1つ）

		重要である	どちらかといえば重要である	あまり重要でない	重要でない
記入例		①	2	3	4
1	開放的で周囲からスペース内の様子を確認できること	1	2	3	4
2	屋内スペースと屋外スペースとの一体的活用ができること	1	2	3	4
3	外部から直接「開放スペース」に入れること	1	2	3	4
4	庁舎全体のわかりやすい誘導案内があること	1	2	3	4
5	喫茶室やカフェなど憩いのスペースがあること	1	2	3	4
6	会議などのスペースや機能があること	1	2	3	4
7	展示場としてのスペースや機能があること	1	2	3	4
8	小規模なイベントができる、オープンスペースがあること	1	2	3	4
9	市民活動に係る市役所の各部署のサポートが得やすいこと	1	2	3	4

問 22 その他庁舎に求める機能や設備、使い方などについて、ご意見をお聞かせください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

調査票は7月21日(木)までに同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにご投函
ください。

◎庁舎整備の今後の予定

【平成28・29年度】

○庁舎整備基本設計

- ・庁舎整備検討市民委員会
- ・庁舎整備検討庁内委員会



平成28年度
庁舎整備市民アンケート
(1,000人)

【平成30年度】

○庁舎整備手法決定

- ・従来方式(直営発注)
- ・PFI(民間資金活用)
- ・デザインビルド(設計施工一括発注)他

【平成31～35年度】

○実施設計～工事予定期間



ガウラファミリー

袖ヶ浦市庁舎整備に関する 市民アンケート調査結果報告書

発行：袖ヶ浦市総務部管財契約課

〒299-0292 千葉県袖ヶ浦市坂戸市場 1 - 1

電話：0438-62-2111（代表）

Fax：0438-62-5916

